

携帯型デジタル簡易無線機 IC-DPR7S IC-DPR7SBT

PLUS

この無線機をご使用の際には、総務省総合通信局への無線局の登録申請が必要です。
必ず登録申請をして、登録状が手元に届いてからご使用ください。
無線局の登録申請手続きをしないで運用されますと、不法無線局となり1年以下の懲役又は100万円以下の罰金に処せられますのでご注意ください。



はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本製品は、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた登録局対応の携帯型デジタル簡易無線機です。

ご使用の前に、取扱説明書をよくお読みいただき、本製品の性能を十分発揮していただくとともに、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

取扱説明書の構成について

本製品の取扱説明書は、本製品に付属の「簡易取扱説明書」(冊子)、弊社ホームページに掲載の「取扱説明書」(PDFファイル)で構成されています。

簡易取扱説明書(冊子)

はじめて本製品をお使いになる前に、知っておいていただきたい安全上のご注意や本製品の基本的な操作方法などについて記載しています。

取扱説明書(本書)

各種機能の詳細や使用方法について記載しています。

- ◎個別呼び出し機能
- ◎その他の機能について
- ◎別売品について
- ◎定格

登録商標/著作権について

アイコム、ICOM、ICOMロゴ、ポケットビーブは、アイコム株式会社の登録商標です。

Bluetoothのワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、アイコム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

AMBE+2は、Digital Voice Systems, Inc.の商標です。その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標、または登録商標です。

なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

ユーザー登録について

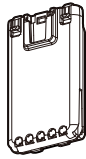
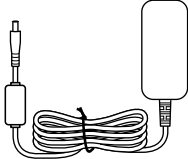
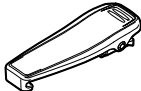
インターネットから、<http://www.icom.co.jp/>にアクセスしていただき、ユーザー登録用フォーム(サポート情報→ユーザー登録)にしたがって必要事項を入力してください。

本製品の特長について

- ◎IP67/IP66/IP55/IP54(P.iv)の性能に対応できるように設計されています。(バッテリーパック、アンテナ、保護カバー装着時に限る)
- ◎デジタル無線機の特長として、高音質で通話ができます。
- ◎サブチャンネルPTT機能(P.3-4)搭載により、最大3CH間で送受信ができます。
- ◎チャンネル番号音声案内機能を使用すると、通話チャンネルを切り替えたとき、選択したチャンネル番号を音声で読み上げます。
- ◎Bluetooth[®]機能搭載により、VS-3などのBluetooth[®]対応機器を使用できます。
- ◎ポケットビーブメロディー機能を使用すると、ポケットビーブの代わりとして、メロディーでお知らせできます。
- ◎あらかじめ設定した複数のチャンネルを巡回受信できるメモリーチャンネルスキャン機能を装備しています。
- ◎個別呼び出し機能を使用しない場合、種別コード「3R」、「3T」の他社製デジタル簡易無線機と通話互換があります。*
- ◎イコライザー機能を使用すると、好みの音質にできます。
- ◎ノイズキャンセル機能を使用すると、送信時の音声からノイズ成分を取り除き、音声品質を向上させます。
- ★AMBE+2[™]方式を採用している機種に対応しています。

はじめに

付属品について

 バッテリーパック (BP-290)	 急速充電器 (BC-226)	 ACアダプター (BC-123S #64 (ストレート型): 急速充電器用)
 ベルトクリップ (MBB-3)	 アンテナ (FA-S06U)	 ハンドストラップ
<input type="checkbox"/> 簡易取扱説明書 <input type="checkbox"/> 申請書類一式 <input type="checkbox"/> 保証書		

※付属品の一部は、別売品としてもご用意しています。

使用後はリサイクルへ



この製品は、充電式電池使用機器です。希少な金属を再利用し、地球環境を維持するために、不要になった電池は廃棄せず、端子部分をテープで絶縁し、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

充電式電池リサイクル協力店については、一般社団法人 JBRCのホームページでご確認ください。

JBRCホームページ <https://www.jbrc.com/>

チャンネルについて

- ◎CH01～CH14、CH16～CH82
：陸上・海上用チャンネル
- ◎CH15(呼出CH)^{★1}：呼出用チャンネル
- ◎CHS1～CHS15^{★2}：上空用チャンネル
- ★1 一時的な呼び出しをするときに使用します。(「簡易取扱説明書」P.7)
多くの局が呼出用チャンネルを使用しますので、呼び出し後の通話は、空いている陸上・海上用チャンネルに切り替えてから通話をつづけてください。
- ★2 上空用チャンネルでは送信できません。
出荷時、上空用チャンネルの使用は、「OFF」(「簡易取扱説明書」P.23)に設定されています。

音声圧縮(符号化)方式について

本製品は、米国DVI社の開発したAMBE(Advanced Multi-Band Excitation)方式を採用しており、AMBE+2™方式に対応しています。

The AMBE+2™ voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within this Communications Equipment. The user of this Technology is explicitly prohibited from attempting to extract, remove, decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a human-readable form. U.S. Patent Nos. #8,359,197, #7,970,606, and #6,912,495 B2

自動車運転時のご注意

- ◎安全運転のため、運転中に無線機を操作したり、無線機の表示部を注視(表示部を見つづける行為)したりしないでください。
- ◎無線機を操作、または表示部を注視する場合は、必ず安全な場所に自動車を停車させてください。
- ◎安全運転に必要な外部の音が聞こえない状態で自動車を運転しないでください。
一部の都道府県では、運転中にイヤホンやヘッドホンなどを使用することが規制されています。
- ◎安全運転のため、無線機を身体に付けた状態で運転しないでください。

海水が付着したときは？

海水が無線機に付着したときは、すぐに洗い流し、水分をふき取って十分に乾燥させてからご使用ください。海水が付着したまま放置したり、使用したりすると、故障の原因になります。

- ※バッテリーパック、アンテナ、保護カバーを無線機に正しく取り付けられた状態で洗浄してください。
- ※常温の真水でやさしく洗い流してください。
- ※ブラシなどを使用せず、手で洗い流してください。

ご注意

次の場合は防水性能を維持できませんので、弊社サポートセンターにご相談ください。

- 無線機本体、コネクターの保護カバーが破損している場合
- 落下などの強い衝撃を無線機に与えた場合

はじめに

電磁ノイズについて

以下に示すようなインバーター回路内蔵の電気製品、および電子機器の近くで使用すると、電磁ノイズの影響を受けて、正常に受信できないことがあります。

【インバーター回路内蔵のおもな電子機器】

- ◎LED照明器具 ◎電磁調理器
- ◎給湯器 ◎太陽光発電装置
- ◎自動車に搭載された電子機器

取り扱い上のご注意

- ◎アンテナを持って製品を持ち運んだり、振り回したりしないでください。
- ◎本製品を極端に寒い場所から持ち運んだ場合は、結露する可能性があります。
結露した場合は、自然乾燥させるか、長いあいだ同じ環境に置くなどして、結露がなくなってからご使用ください。
- ◎雨の中や、水滴が付着したまま、またはぬれた手でバッテリーパックや防水形スピーカーマイクロホン、アンテナを付けたり、はずしたりしないでください。
- ◎水や湯を水道の蛇口から直接当てないでください。
- ◎無線機本体やバッテリーパックと充電器の各端子(充電端子および電源ジャック)、アルカリ乾電池ケースの電池端子にゴミやホコリが付着すると、正常に使用できないことがあります。
乾いた布などで、各端子を定期的にふいてください。
- ◎磁気カードを無線機に近づけないでください。
磁気カードの内容が消去されることがあります。
- ◎バッテリーパックをお買い上げいただいたときや、2ヵ月以上使用しなかったときは、必ず充電してください。
- ◎本製品の故障、誤動作、不具合、停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

電波法上のご注意

- ◎無線局の運用に当たっては、電波利用料を納付する必要があります。(納入告知書により、納付期限内に納付)
- ◎登録局の有効期間は、登録日から数えて5年間です。
再登録の申請は、有効期間満了の3ヵ月前から1ヵ月前のあいだに手続きをしてください。
- ◎本製品は電波法に基づいて、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。
分解や改造をしないでください。
- ◎本製品は、アンテナを含めて技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。
そのため、ご使用いただけるアンテナは、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けたものに限定されます。
同梱の「アンテナについて」を参考にしてください。
技術基準適合証明(工事設計認証)を受けていないアンテナを使用すると、電波法違反で罰せられる場合がありますので、ご注意ください。
- ◎他局の通信を妨害することや、通話の内容をほかにもらし、これを窃用することは、かたく禁じられています。
- ◎本製品は、日本国内における陸上、および日本周辺海域で運用する無線機です。
上空で使用する場合は、CH S1～CH S15を使用してください。
無線局登録状の範囲を超えた運用は、1年以下の懲役又は100万円以下の罰金に処せられることとなります。

はじめに

防塵/防水性能について

バッテリーパックとアンテナ、保護カバーを正しく取り付けた状態で、IP67/IP66/IP55/IP54の防塵/防水性能があります。

次のような使いかたをすると、防塵/防水性能を維持できませんので、ご注意ください。

- 水深1m以上、または30分以上水中に放置したとき
- 雨の中や、水滴が付着、またはぬれた手でバッテリーパックやアンテナ、防水形スピーカーマイクロホンを付けたり、はずしたりしたとき
- 海水や砂、泥、洗浄液(洗剤)等が無線機に付着したまま放置したとき
- 落下等外的衝撃により、樹脂変形、ひずみ、ひび割れ等が発生した場合や薬品の付着により筐体、ゴムパッキンに劣化が生じたとき
- 長時間、高い水圧をかけたとき
- -20°C ~ $+60^{\circ}\text{C}$ 以外の環境で使用したとき
- 薬品等の蒸気が発散しているところや薬品に触れるところに放置したとき
- 本製品を分解または改造したとき
- 無線機本体とバッテリーパック、アンテナ、別売品を接続するコネクタ間に微細なゴミ(糸くず、毛髪、砂など)が挟まっているとき

別売品の使用による防塵/防水性能について

バッテリーパック(BP-290)、アンテナ(FA-S05U/FA-S06U/FA-F07U)、防水形スピーカーマイクロホン(HM-172)を無線機本体に装着することで、IP67の防塵/防水性能になります。

※上記以外の別売品を使用したときは、別売品を含めた防塵/防水性能の低いものに制限されます。

※別売品(5章)は、防塵/防水性能をご確認のうえ、ご使用ください。

IP表記について

機器内への異物の侵入に対する保護性能を表すための表記です。

IPにつづけて保護等級を示す数字で記載され、1つ目の数字が防塵等級、2つ目が防水等級を意味します。

また、保護等級を定めない場合は、その等級の表記に該当する数字部分を「X」で表記します。

【本書で記載する保護の程度について】

IP5X(防塵形) : 試験用粉塵を 1m^3 あたり2kgの割合で浮遊させた中に8時間放置したのちに取り出して、無線機として機能すること

IP6X(耐塵形) : 試験用粉塵を 1m^3 あたり2kgの割合で浮遊させた中に8時間放置したのちに取り出して、無線機の内部に粉塵の浸入がないこと

IPX4(防まつ形) : いかなる方向からの水の飛まつを受けても有害な影響がないこと

IPX5(防噴流形) : 注水ノズル(内径6.3mm)をすべての方向に使用して、3mの距離から、1分間 1m^2 あたり約12.5リットルの水を3分以上注水後、無線機として正常に機能すること

IPX6(耐水形) : 注水ノズル(内径12.5mm)をすべての方向に使用して、3mの距離から、1分間 1m^2 あたり約100リットルの水を3分以上注水後、無線機として正常に機能すること

IPX7(防浸形) : 水深1mの静水(常温の水道水)に静かに沈め、30分間放置したのちに取り出して、無線機として機能すること

はじめに

電波干渉についてのご注意

2.4GHz帯のBluetoothで通信するときは、次のことさらに注意してください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を必要とする無線局)および特定小電力無線局(免許を必要としない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を必要とする無線局)が運用されています。

◎この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。

◎万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、または電波の発射を停止(Bluetooth接続の切断)してください。

※Bluetooth接続の切断方法については、4-18ページをご覧ください。

◎その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、下記へお問い合わせください。

お問い合わせ先

アイコム株式会社 サポートセンター
0120-156-313(フリーダイヤル)

◆携帯電話・公衆電話からのご利用は、
06-6792-4949(通話料がかかります)
受付(平日 9:00~17:00)

2.4GHz現品表示記号の意味について

「2.4」：2.4GHz帯を使用する無線設備

「FH」：FHSS方式

2.4FH1

「1」：想定干渉距離が10m以下

「---」：全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局の帯域を回避不可

気圧調整口(エアイベント)について

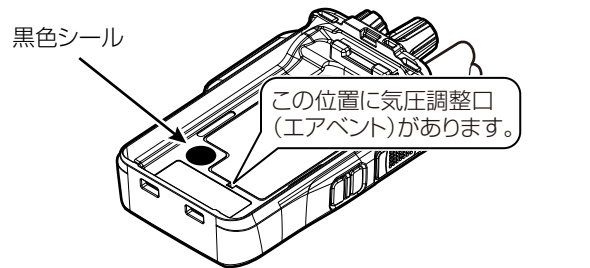
下図の位置に気圧調整口(エアイベント)があり、この下にある空気を通す素材のシートによって、気圧を調整しています。

※ほかのシールを貼るなどしてふさぐと、気圧調整ができなくなり、運用してしばらくすると、内蔵スピーカーからの音量が小さくなる現象が発生することがあります。

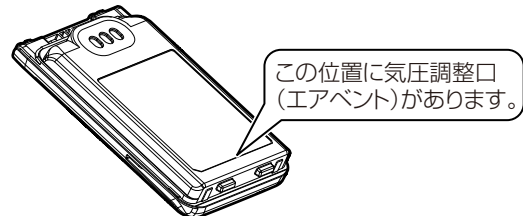
また、防水性能が維持できなくなる場合があります。

※黒色シールに傷がつくと、防水性能が維持できなくなる場合があります。

IC-DPR7S/IC-DPR7SBT



BP-290



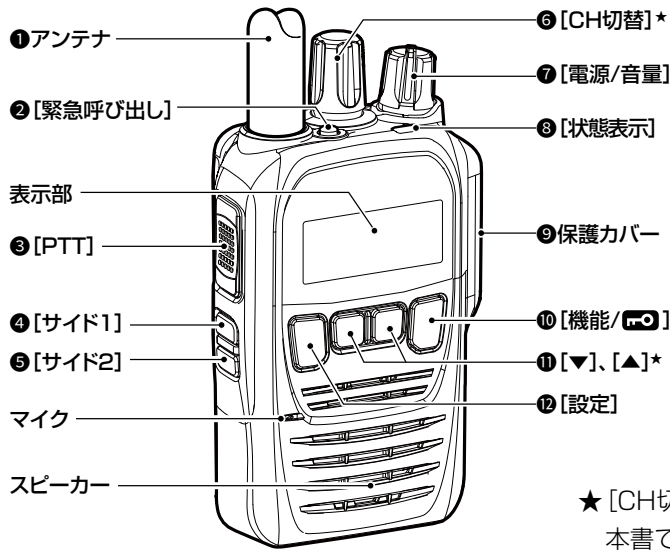
もくじ

はじめに	i	5. 別売品について	5-1
取扱説明書の構成について	i	■ 別売品一覧表	5-1
登録商標/著作権について	i	■ BC-225(インテリジェントチャージャー) :	
ユーザー登録について	i	充電のしかた	5-4
本製品の特長について	i	■ BC-227(急速充電器) : 充電のしかた	5-5
付属品について	ii	■ BC-214(6連急速充電器) : 充電のしかた	5-6
チャンネルについて	ii	■ MBB-4(ベルトクリップ)	5-6
音声圧縮(符号化)方式について	ii	■ AD-52(イヤホンジャックアダプター)	5-6
自動車運転時のご注意	ii	■ HM-109/HM-163	
海水が付着したときは?	ii	(接話タイピン型マイクロホン)	5-7
電磁ノイズについて	iii	■ OPC-636/OPC-637	
取り扱い上のご注意	iii	(マイクスイッチ内蔵型接続ケーブル)	5-7
電波法上のご注意	iii	■ EH-12(ヘルメット取り付け型スピーカー)	5-7
防塵/防水性能について	iv	■ HS-86/HS-92(ヘルメット取り付け型ヘッドセット)	
別売品の使用による防塵/防水性能について	iv	とEH-11(イヤークリップ型スピーカー)の組み立て	5-7
IP表記について	iv	■ HM-238(サブチャンネルPTT機能対応	
電波干渉についてのご注意	v	タイピン型マイクロホン)	5-8
2.4GHz現品表示記号の意味について	v	■ BP-291(アルカリ乾電池ケース)	5-9
気圧調整口(エアイベント)について	v		
1. 各部の名称と機能	1-1	6. 定格	6-1
■ 前面部/側面部	1-1	■ 無線機本体	6-1
■ 表示部	1-2	■ BC-226 急速充電器(付属品)	6-1
2. 個別呼び出し機能による通話	2-1	■ BC-225 インテリジェントチャージャー	
■ 呼び出しかたの種類について	2-1	(別売品)	6-2
■ 個別呼び出し機能を設定するには	2-2	■ BC-227 急速充電器(別売品)	6-2
■ 個別呼び出し機能で通話するには	2-4	■ BC-214 6連急速充電器(別売品)	6-2
3. そのほかの機能について	3-1	さくいん	i
■ 緊急呼び出し機能(エマージェンシー)	3-1		
■ マンダウン機能	3-3		
■ ローンワーカー機能	3-3		
■ サブチャンネルPTT機能	3-4		
■ プライベートチャンネル機能	3-9		
■ プライベートチャンネルスキャン機能	3-9		
■ メモリーチャンネルスキャン機能	3-10		
■ ワンタッチアンサー機能	3-11		
■ モニター機能	3-12		
■ ポケットビープ機能	3-12		
■ ポケットビープメロディー機能	3-12		
■ 着信履歴機能	3-13		
■ 充電モード	3-14		
■ バッテリー内部温度警告機能	3-15		
■ バッテリーチェック機能	3-15		
■ バッテリーインフォモード	3-16		
4. 各種機能の設定	4-1		
■ 設定項目一覧	4-1		
■ 設定モードに移行するには	4-4		
■ 設定のしかた	4-4		
■ 設定項目について	4-5		

1

各部の名称と機能

■ 前面部/側面部



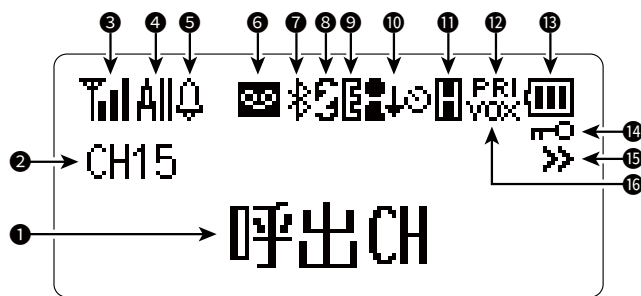
★[CH切替]と[▼]、[▲]は同じ動作をします。
本書では[▼]、[▲]を使用して説明しています。

① アンテナ	
電波を発射、または受信します。	
② [緊急呼び出し]	
○短く押すと、設定されたプライベートチャンネルに切り替わります。(P.3-9)	
○長く(約5秒)押すと、緊急呼び出し(エマージェンシー)モードに切り替わります。(P.3-1)	
※設定モードでは使用しません。	
※工場出荷時や全設定初期化時は、緊急呼び出し機能が使用できません。	
③ [PTT]	
待受状態	押しているあいだは送信状態、はなすと待ち受け状態に切り替わります。
設定モード	設定変更を適用して、無線機を再起動します。(P.4-4)
④ [サイド1]	
任意の機能を割り当てる(P.4-10)、またはサブチャンネルのPTTスイッチ(P.3-4)として使用できます。	
※設定モードでは使用しません。	
⑤ [サイド2]	
待受状態	任意の機能を割り当てる(P.4-10)、またはサブチャンネルのPTTスイッチ(P.3-4)として使用できます。
設定モード	○グループ番号のメンバー指定をします。(P.4-8) ○スキャンする通話チャンネルを指定します。(P.4-11) ○ワンタッチアンサー機能の音声を再生します。(P.4-12)

⑥ [CH切替]	
[▼]、[▲]と同じ動作をします。	
⑦ [電源/音量]	
電源の「ON」/「OFF」と音量の調整をします。	
⑧ [状態表示]	
[PTT]を押しているあいだ(送信中)は赤色、電波を受信しているあいだは緑色に点灯します。	
⑨ 保護カバー	
別売品のヘッドセットなどを接続するときは、保護カバーをはずして接続してください。(「簡易取扱説明書」P.2)	
※防水性能の維持と端子保護のため、別売品を接続しないときは、保護カバーを取り付けてご使用ください。	
⑩ [機能/]	
待受状態	○短く押すと、ユーザーコード表示、秘話表示、個別呼び出し表示などに切り替わります。 ○長く(約1秒)押すごとに、ロック機能を「ON」/「OFF」できます。
設定モード	設定項目を選択します。
⑪ [▼]、[▲]	
待受状態	チャンネルの変更や、設定値の切り替えをします。
設定モード	設定値の切り替えをします。
⑫ [設定]	
待受状態	長く(約1秒)押すごとに、送信出力(5W(High)/1W(Low))が切り替わります。
設定モード	設定項目を選択します。

1 各部の名称と機能

■ 表示部



① [相手局番号]/[設定内容]表示

音量、通話チャンネル、ユーザーコード、秘話キー、設定モードで選択した設定項目や設定内容などが表示されます。

② ガイドメッセージ表示

通話チャンネル、または着信などの状態が表示されます。

③ 電波状態表示

受信している電波の強さ(目安)が4段階で表示されます。

★待ち受け時、または送信時、
受信電波の強さが著しく弱い
ときの表示です。



④ 呼び出しモード表示

All : 全局呼び出しとなる項目を表示中

グ : 設定モードでグループのメンバーを設定中(P.4-8)

☒ : グループ呼び出しを受信中(P.2-6)、または着信を許可するグループ番号を表示中(P.2-5)

⑤ ベル表示

通話相手から個別呼び出し(着信)を受けたとき点滅します。

ポケットビープ機能(P.3-12)設定中は点灯します。

⑥ 録音機能表示

録音データ状態、録音動作状態が表示されます。

☒: 録音データがある

●: 録音中

⏏: 録音を一時停止

⑦ Bluetooth機能表示 IC-DPR7SBT 限定

📶: Bluetooth機能が「ON」

📶: Bluetooth機器と接続中

※Bluetooth機器との接続について詳しくは、「簡易取扱説明書」の15ページをご覧ください。

⑧ 秘話表示

秘話機能が「ON」のとき表示されます。

⑨ 緊急呼び出し(エマージェンシー)表示

緊急呼び出し機能(P.3-2)が設定されているとき、表示されます。

⑩ マンダウン機能/ローンワーカー機能表示

📶: マンダウン機能(P.3-3)が「ON」

📶: ローンワーカー機能(P.3-3)が「ON」

📶: 上記の機能が両方とも「ON」

⑪ 送信出力表示

各通話チャンネルの送信出力設定が表示されます。

※無線機の温度が高温になっている場合、無線機を保護するために、送信出力が自動的に低下します。

そのとき、送信出力表示は点滅します。

☒: High

☒: Low

☒: 受信専用

⑫ スキャン表示

実行しているスキャンの種類が表示されます。

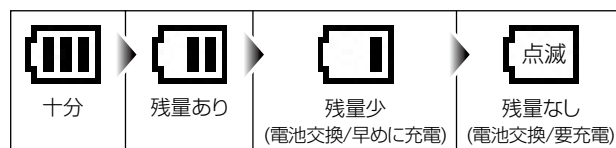
PRI : プライベートチャンネルスキャン(P.3-9)実行中

MC : メモリーチャンネルスキャン(P.3-10)実行中

SUB : サブチャンネルスキャン(P.3-4)実行中

⑬ (電池残量)表示

電池残量が4段階で表示されます。



⑭ ロック機能表示

ロック機能が動作中のとき、表示されます。

⑮ ネクスト表示 IC-DPR7SBT 限定

設定モード画面で、文字が入りきらない場合に表示されます。

入りきらない文字は、[サイド2]で表示できます。

⑯ VOX機能表示

VOX機能が「内部」、または「Bluetooth」に設定(P.4-7)されているとき、表示されます。

※VOX機能について詳しくは、「簡易取扱説明書」の13ページをご覧ください。

■ 呼び出しかたの種類について

呼び出しかたには、次の3種類の方法があります。

◎ 全局呼び出し

通話チャンネル(使用例：CH 05)とユーザーコード(使用例：UC 001)が同じ相手局(使用例：Bさん/Cさん/Dさん)を一斉に呼び出します。

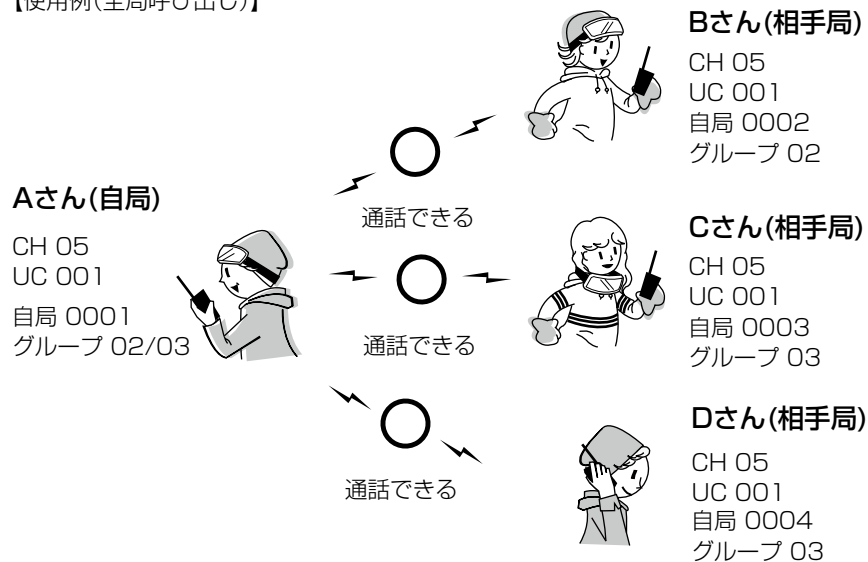
◎ 個別呼び出し

通話チャンネル(使用例：CH 05)とユーザーコード(使用例：UC 001)が同じで、呼び出す相手局(使用例：Bさん)の自局番号(使用例：0002)を指定して呼び出します。

◎ グループ呼び出し

通話チャンネル(使用例：CH 05)とユーザーコード(使用例：UC 001)が同じで、メンバー指定(P.4-8)されたグループ番号(使用例：グループ 03)に所属するすべての相手(使用例：Cさん/Dさん)を呼び出します。

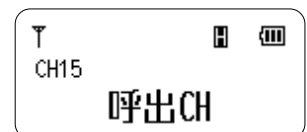
【使用例(全局呼び出し)】



【「呼出CH」表示での機能制限について】

CH15は、陸上、または海上で使用できる呼出用チャンネルで、「呼出CH」と表示されます。

「呼出CH」表示のときは、グループ通話や秘話機能、個別呼び出し機能による通話はできません。



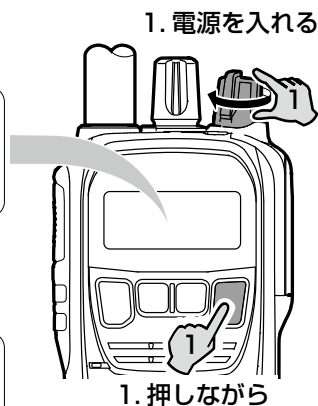
呼出用チャンネル表示

2 個別呼び出し機能による通話

■ 個別呼び出し機能を設定するには
通話に使用するすべての無線機で設定が必要です。

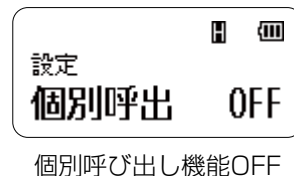
1 設定モードにする

1. 本製品の電源を切った状態で、[機能/📶]を押しながら、電源を入れます。
 - 「ピッ」と鳴って、「モード切替」が表示されます。
 2. [機能/📶]から手をはなしたら、「モード切替」が表示されているあいだに、再度、[機能/📶]を押します。
 - 「ピピッ」と鳴って、「設定モード」が表示されたあと、「動作」が表示されれば、設定モードに移行しています。
- ※「モード切替」が表示されなかったときは、手順1から操作をやりなおしてください。



2 「個別呼出 ON」を選択する

1. [機能/📶]を押して、「個別呼出 OFF」(初期設定時)を選択します。(P.4-7)
2. [▼]を押すと「個別呼出 OFF」、[▲]を押すと「個別呼出 ON」を選択できます。
 - ※個別呼び出し機能で使用するすべての無線機に設定してください。
 - 手順3以降の設定は、2-1ページの例(設定値)を使用して説明しています。



3 自局番号を設定する

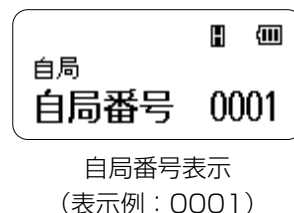
自局番号とは、自分が個別呼び出しを受けるための番号です。

1. [機能/📶]を押して、「自局番号 0001」(初期設定時)を選択します。(P.4-7)
2. [▼]、[▲]を押して、自局番号を設定します。

【設定例】

個別呼び出し機能で使用するすべての無線機(使用例：Aさん/Bさん/Cさん/Dさん)に設定してください。

Aさん(自局) : 0001 Bさん(相手局) : 0002
Cさん(相手局) : 0003 Dさん(相手局) : 0004

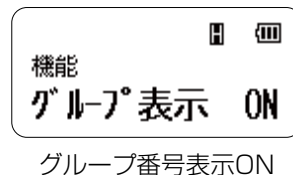


2 個別呼び出し機能による通話

■ 個別呼び出し機能を設定するには(つづき)

4 「グループ表示 ON」を選択する

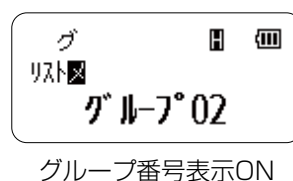
1. [機能/]を押して、「グループ表示 OFF」(初期設定時)を選択します。(P.4-8)
2. [▼]を押すと「グループ表示 OFF」、[▲]を押すと「グループ表示 ON」を選択できます。
※個別呼び出し機能で使用するすべての無線機(使用例：Aさん/Bさん/Cさん/Dさん)に設定してください。



5 グループ呼び出しのメンバー指定

メンバーとして所属するグループの番号を指定します。

1. [機能/]を押して、「グループ 01」(初期設定時)を選択します。(P.4-8)
2. [▼]、[▲]を押して、指定するグループ番号を選択します。
3. 選択したグループ番号(例：グループ 02)を表示した状態で、[サイド2]を押します。
 - [■]が点灯している番号のグループから呼び出しを受けられます。※複数のグループからの呼び出しを受けるときは、手順2と3の操作を繰り返します。



【メンバー指定するグループ番号の例】

グループ呼び出しで使用するすべての無線機(使用例：Aさん/Bさん/Cさん/Dさん)にメンバー指定してください。

Aさん(自局)：グループ02/グループ03

Bさん(相手局)：グループ02

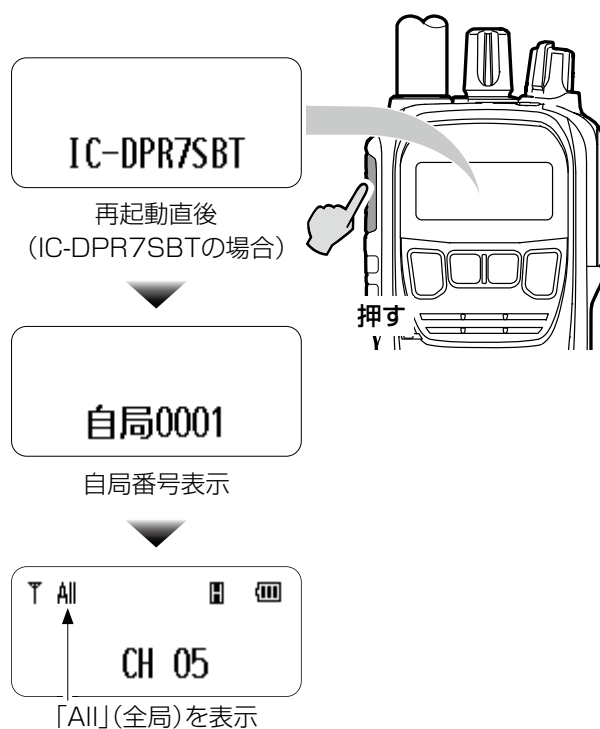
Cさん(相手局)：グループ03

Dさん(相手局)：グループ03

6 変更を適用する

[PTT]を押して、変更を適用します。

- 設定モードが解除され、設定した自局番号の表示後、「All」(全局)が表示されます。
- ※設定値を変更後に電源を切った場合でも、設定値が確定されます。
- ※設定モードを解除するまで通話できません。



2 個別呼び出し機能による通話

■ 個別呼び出し機能で通話するには

相手局番号(相手の自局番号)やグループ番号を指定して相手局と通話する方法について、説明します。

※ 個別呼び出し機能がすべての無線機に設定(P.2-2)されているものとして説明しています。

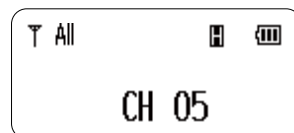
1 通話チャンネルを合わせる

[▼]、[▲]を押して、相手と同じ通話チャンネルに合わせます。

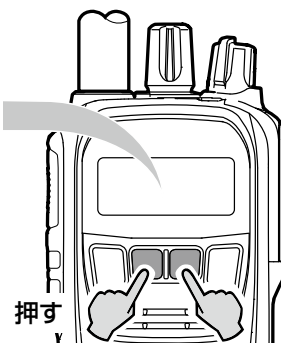
※ 設定できる範囲は、「01～14」、「16～82」、「S1～S15」です。

※ [▼]、[▲]を押しつづけると、連続で切り替わります。

一巡すると、「ビピッ」と鳴ります。



「All」(全局)表示



「All」(全局)表示で送信すると

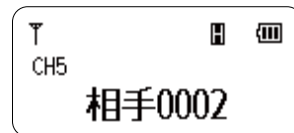
通話チャンネル(CH01～CH14、CH16～CH82)、ユーザーコード、秘話機能の設定が同じすべての相手呼び出しできます。

あらかじめ、自局番号を通話相手に知らせるときなどに使用できます。

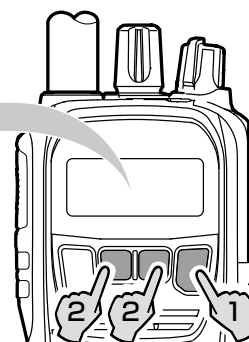
2 相手局番号を合わせる

▶ 1局を呼び出すときは(個別呼び出し)

1. [機能/]を押して、「相手局番号」(初期設定時：0002)を選択します。
2. [▼]、[▲]を押して、相手の自局番号に合わせます。



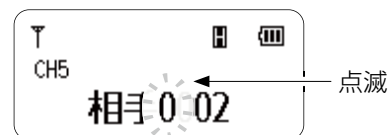
相手局番号表示



2. 押す 1. 押す

【編集できる桁を変更するには】

1. 「相手局番号」が表示されている状態で、[設定]を押します。
 - 編集できる桁が点滅します。
2. [CH切替]を回す、または[▼]、[▲]を押して、相手局番号を選択します。
 - ※ [設定]を押すごとに、編集できる桁が1つ右に移動します。
 - ※ [サイド2]を押すと、編集前の数字に戻ります。
3. 内容を確定するときには、[機能/]を押します。
 - 桁の点滅が点灯に変わります。



[設定]を押したとき
(例：上位1桁目)

2 個別呼び出し機能による通話

■ 個別呼び出し機能で通話するには

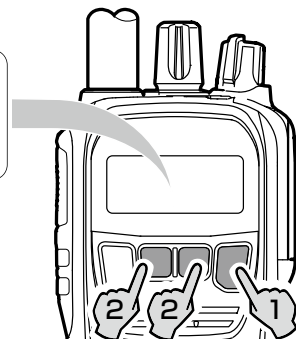
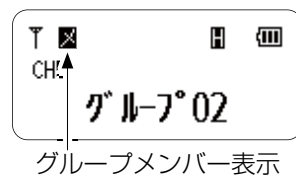
2 相手局番号を合わせる(つづき)

▶ グループを呼び出すときは

1. [機能/]を押して、「グループ番号」(初期設定時：01)を選択します。
2. [▲]、[▼]を押して、呼び出しをする相手のグループ番号(例：グループ02)に合わせます。

※通話相手がグループ番号のメンバー指定をしていない場合、そのグループ番号で呼び出しをしても、こちらの音声は相手に聞こえません。

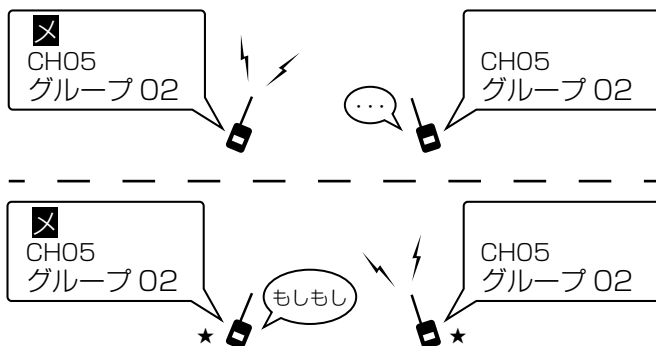
ただし、その相手から呼び出しを受けた場合、相手の音声はこちらに聞こえます。



2. 押す 1. 押す

メンバー指定あり

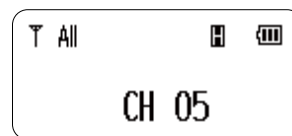
メンバー指定なし



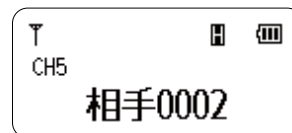
- ★ 呼び出しを受けた場合、相手局番号とグループ番号が交互に表示されます。
呼び出しを受ける前の表示に戻る(終話する)までに[PTT]を押すと、応答できます。

3 呼び出す

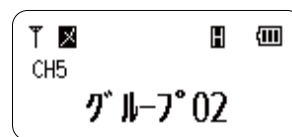
1. 呼び出す前に、現在の表示内容を確認します。
表示内容によって、3とおりの呼び出ししかたができます。
 - ◎ 全局呼び出しをする場合
「All」(全局)表示 (例：CH 05)
 - ◎ 個別呼び出しをする場合
「相手局番号」表示 (例：相手0002)
 - ◎ グループ呼び出しをする場合
「グループ番号」表示 (例：グループ 02)
2. [PTT]を押しながら、相手に呼びかけます。
 - [状態表示]が赤色に点灯します。



All(全局)表示



相手局番号表示



グループ番号表示

2 個別呼び出し機能による通話

■ 個別呼び出し機能で通話するには(つづき)

4 呼び出しを受ける


呼び出しを受けたときは、下図の表示状態で[PTT]を押すと、応答できます。

◎ 全局呼び出しを受けたとき

相手局番号とALLが交互に表示されます。

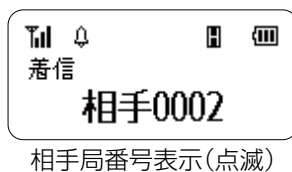


◎ 個別呼び出しを受けたとき

相手局番号と「」が点滅表示されます。

ポケットビープ機能やポケットビープメロディー機能が設定されているときは、設定されたビープ音やメロディー音が鳴ります。(P.3-12、P.4-5)

※応答すると、「着信」→「通話」表示に変わります。



◎ グループ呼び出しを受けたとき

相手局番号とグループ番号を交互に点滅表示します。



■ 緊急呼び出し機能(エマージェンシー)

個別呼び出し機能による通話で、迅速な連絡が必要な場合、自分と同じ通話チャンネルで緊急呼び出し機能が設定された相手に、緊急表示と警告音で通知できます。

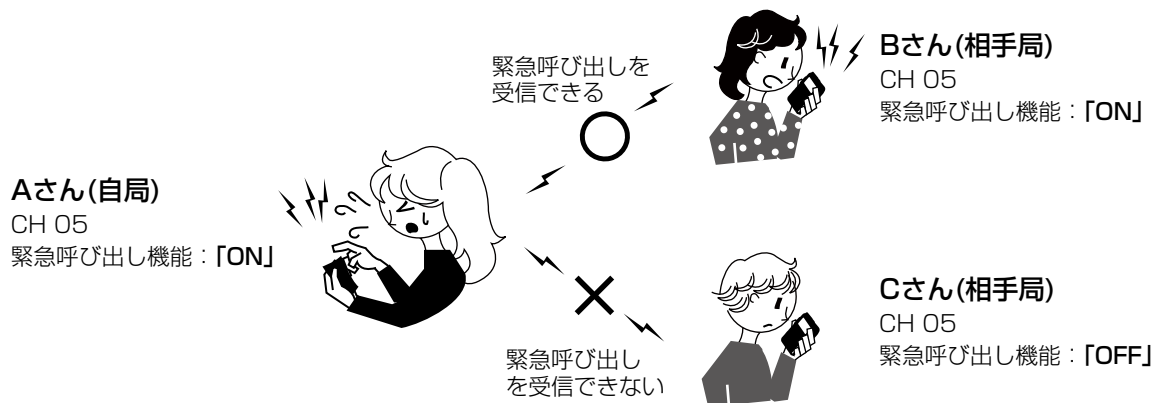
※工場出荷時や全設定初期化時の状態では、使用できません。

設定モードから設定を変更できます。(P.4-9)

【緊急呼び出し機能を正しく使用するには】

あらかじめ、個別呼び出し機能(P.4-7)と緊急呼び出し機能の両方を送信側と受信側の無線機に設定してください。設定されていないときは、緊急呼び出しの受信、または応答ができません。

【使用例】



△ 警告

緊急呼び出し機能(エマージェンシー)は、大きな音量の警告音が連続で鳴ります。

本製品にヘッドセットやイヤホンを取り付けて、緊急呼び出し機能を使用する場合は、[電源/音量]を回して、適切な音量になっていることを確認してください。

下記のような場合、正しく設定されていても緊急呼び出しが通知されなかったり、通知されても警告音が鳴らなかったりすることがあります。

- ◎音量が最小に設定されている場合
- ◎動作中、電池の消耗により自動的に電源が切れた場合
- ◎電波状況の悪化により電波が届かない場合

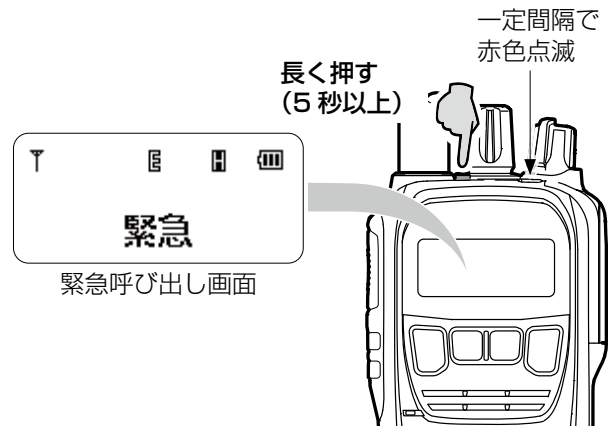
3 そのほかの機能について

■ 緊急呼び出し機能(エマージェンシー)(つづき)

【緊急呼び出しのしかた】

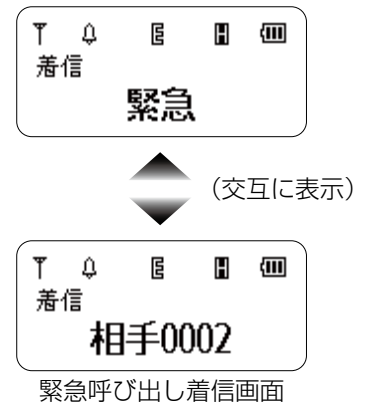
下記の操作をすると、個別呼び出し機能が設定された自分と同じ通話チャンネルの相手へ一斉に緊急呼び出しします。

1. 緊急呼び出しをする相手と同じ通話チャンネル番号を選択します。
2. 「緊急」が表示されるまで、[緊急呼び出し]を長く(5秒以上)押します。
 - ・「緊急」表示の点滅と同時に、警告音が「ピピピ…」と鳴って、一定の間隔ごとに、[状態表示]が赤色に点滅します。
3. その状態で、相手局から応答があるのを待ちます。
 - ・応答があると、警告音が停止して、[状態表示]が緑色に点灯します。
4. 通話をつづけます。
 - ・終話すると、「緊急」表示の点滅を停止し、緊急呼び出しをする前の状態に戻ります。



【緊急呼び出しを受けたときは】

1. 警告音が「ピピピ…」と鳴って、[状態表示]が赤色に点滅します。また、「緊急」と「相手局番号」を交互に表示します。
2. [PTT]を押して、応答します。
 - ・警告音が停止します。
3. 通話をつづけます。
 - ・終話すると、緊急呼び出しを受信する前の状態に戻ります。



【緊急呼び出しを停止するには】

無線機の電源を切ることで、緊急呼び出しを停止できます。

ご注意

下記の場合は、緊急呼び出しができません。

- ◎「呼出CH」を選択している場合
- ◎混信防止機能(「簡易取扱説明書」P.8)により送信制限されている場合
- ◎送信禁止チャンネルを選択している場合(S1～S15含む)
- ◎充電モードになっている場合

3 そのほかの機能について

■ マンダウン機能

本製品を使用している人が倒れるなどして、本製品が60度以上傾いた状態が一定時間つづく、マンダウン機能が動作し、自動で緊急呼び出しをします。

※工場出荷時や全設定初期化時の状態では、使用できません。

設定モードから設定を変更できます。(P.4-9)

【動作について】

無線機が60度以上傾いた状態が10秒間つづいた場合、「ピッピッピッ」と警告音が鳴ります。

警告音が鳴りはじめて、無線機が60度以上傾いた状態が10秒間つづく、自動で緊急呼び出しをします。

※緊急呼び出しが動作するまでに無線機の傾きを30度以内にもどすと、マンダウン機能が再設定されます。

※無線機の電源を切ることで、緊急呼び出しを停止できます。

■ ローンワーカー機能

本製品を一定時間操作しなかった場合、ローンワーカー機能が動作し、自動で緊急呼び出しをします。

警備中などに定期連絡を義務付けているとき、何らかの事故が発生して連絡ができなかった場合に便利です。

※工場出荷時や全設定初期化時の状態では、使用できません。

設定モードから設定を変更できます。(P.4-9)

【動作について】

無線機の操作をしない状態が60分間つづいた場合、「ピッ」と警告音が鳴ります。

警告音が鳴ったあと、さらに60秒間操作をしない状態がつづく、自動で緊急呼び出しをします。

※緊急呼び出しが動作するまでに、スイッチ操作、またはキー操作をすると、警告音を鳴らすまでの時間(60分)がリセットされます。

※無線機の電源を切ることで、緊急呼び出しを停止できます。

緊急呼び出し機能、マンダウン機能、ローンワーカー機能の使用について

本製品に搭載されている緊急呼び出し機能、マンダウン機能、ローンワーカー機能は、電池の消耗、周囲の状況(天候、山や建物などの障害物)など、周囲の環境によっては、通信できないこともありますので、高度な信頼性が必要な用途に使用されることを目的としていません。

補助的な使用を目的とした機能としてご理解ください。

緊急呼び出し機能、マンダウン機能、ローンワーカー機能を使用できないことが原因で発生したいかなる損害についても、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

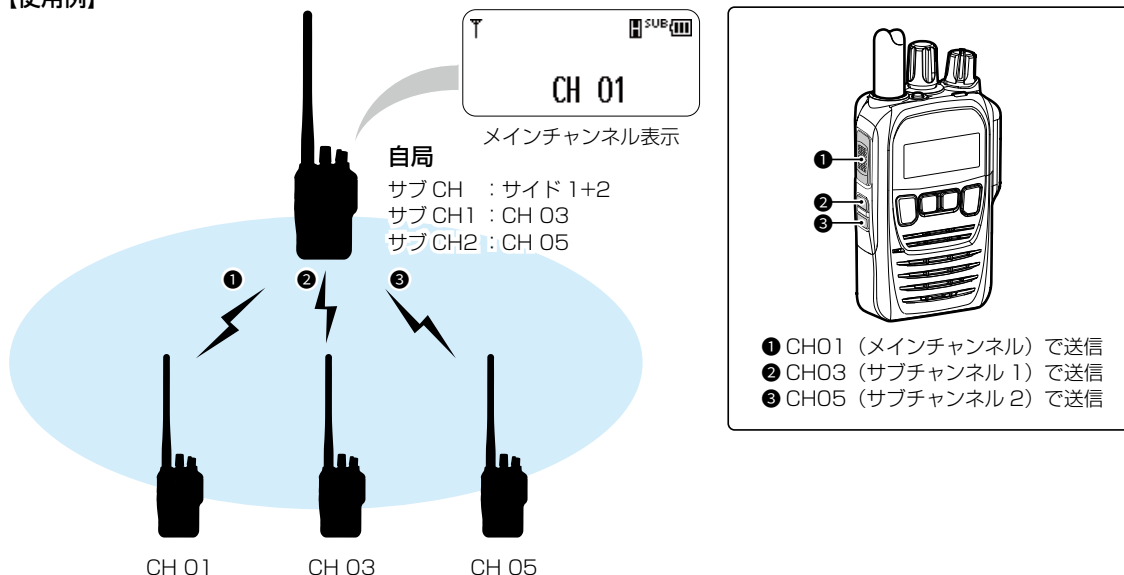
3 そのほかの機能について

■ サブチャンネルPTT機能

[サイド1]、[サイド2]にサブチャンネルを割り当てることで、チャンネル切り替え操作をしないで最大3チャンネル間で送受信ができる機能です。

※サブチャンネルPTT機能を設定時、設定できない機能や[サイド1]、[サイド2]に割り当てて使用できない機能があります。

【使用例】



【サブチャンネルPTT機能と併用できない機能について】

サブチャンネルPTT機能を使用している場合、下記の機能は使用できません。

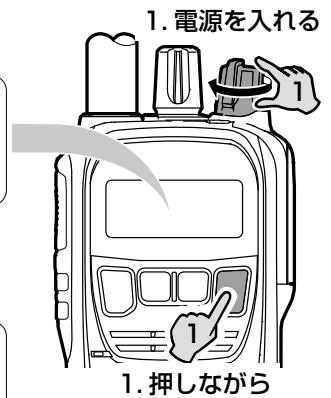
- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| ◎ポケットビープ機能(P.3-12) | ◎送信モニタービープ機能(P.4-6) |
| ◎VOX機能(「簡易取扱説明書」P.14) | ◎着信履歴機能(P.4-8) |
| ◎録音再生機能(P.4-9) | ◎スキャン機能(P.3-9、P.3-10) |
| ◎スキャン一時スキップ機能(P.4-12) | ◎ワンタッチアンサー機能(P.3-11) |
| ◎モニター機能(P.3-12) | ◎パワーセーブ機能(P.4-12) |

3 そのほかの機能について

■ サブチャンネルPTT機能(つづき)

1 設定モードにする

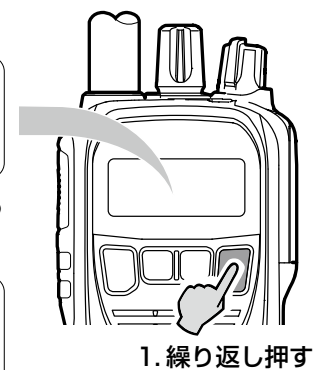
1. 本製品の電源を切った状態で、[機能/] を押しながら、電源を入れます。
 - 「ピッ」と鳴って、「モード切替」が表示されます。
 2. [機能/] から手をはなしたら、「モード切替」が表示されているあいだに、再度、[機能/] を押します。
 - 「ピピッ」と鳴って、「設定モード」が表示されたあと、「動作」、または「ポケットビープ」が表示されれば、設定モードに移行しています。
- ※「モード切替」が表示されなかったときは、手順1から操作をやりなおしてください。



2 サブチャンネルPTT機能を設定する

1. [機能/]、または[設定]を繰り返し押しして、「サブCH OFF」(初期設定時)を選択します。
2. [▲]を押しして、「サイド1」、「サイド2」、または「サイド1+2」を選択します。
 - 「SUB」が点灯し、サブチャンネルPTT機能が有効になります。

- サイド1** : [サイド1]を押したとき、サブチャンネル1で送信する
- サイド2** : [サイド2]を押したとき、サブチャンネル1で送信する
- サイド1+2** : [サイド1]を押したときはサブチャンネル1、[サイド2]を押したときはサブチャンネル2で送信する



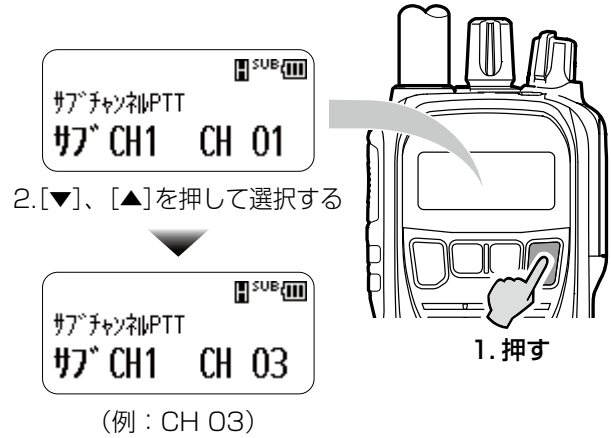
3 そのほかの機能について

■ サブチャンネルPTT機能(つづき)

3 サブチャンネルに通話チャンネルを割り当てる

1. [機能/]を押して、「サブCH1 CH 01」(初期設定時)を選択します。
2. [▼]、または[▲]を押して、サブチャンネル1に割り当てる通話チャンネルを選択します。
※「CH01～CH14」、「呼出CH」、「CH16～CH82」は、上空で使用できません。

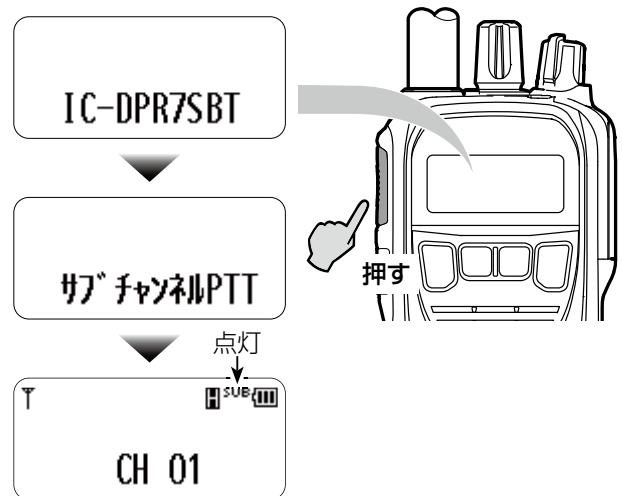
※サブチャンネルPTT機能の設定が「サイド1+2」のときは、もう一度[機能/]を押して、「サブCH2 CH 02」(初期設定時)を選択し、サブチャンネル2に通話チャンネルを割り当ててください。



4 変更を適用する

[PTT]を押して、変更を適用します。

- 無線機が再起動後、サブチャンネルPTT機能が使用できるようになります。
- ※設定値を変更後に電源を切った場合でも、設定値が確定されます。
- ※設定モードを解除するまで通話できません。

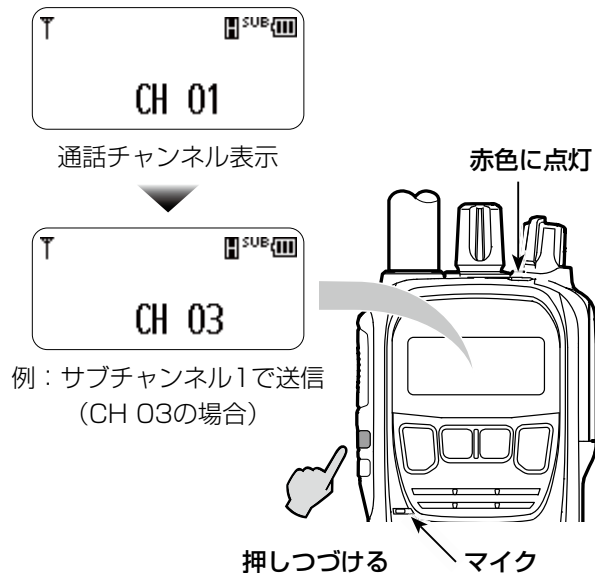


3 そのほかの機能について

■ サブチャンネルPTT機能(つづき)

■ サブチャンネルで送信する

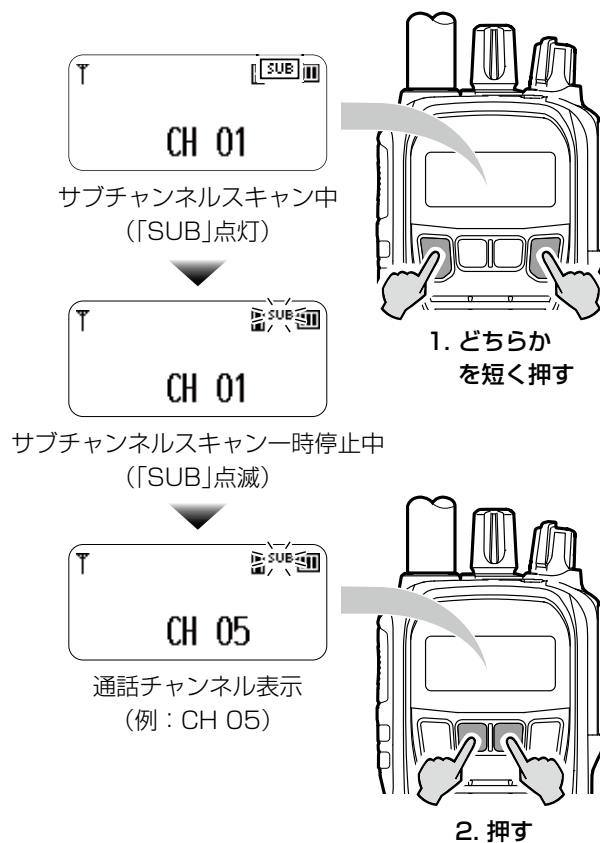
[サイド1]、または[サイド2]を押すつづけると、割り当てられた通話チャンネルで送信します。



【通話チャンネルの変更について】

サブチャンネルのスキャン中(「SUB」点灯)は、表示中の通話チャンネルを変更できません。
通話チャンネルを変更する場合は、以下の手順で変更してください。

1. [設定]、または[機能/📡]を短く押します。
 - 「SUB」が点滅し、サブチャンネルのスキャンが一時停止します。
2. 「▼」、 「▲」を押して、相手と同じ通話チャンネルに合わせます。

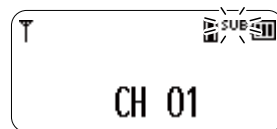


3 そのほかの機能について

■ サブチャンネルで個別呼び出しする

お買い上げの販売店で個別呼び出し機能(P.4-7)が設定されている場合、サブチャンネルで個別呼び出しができます。

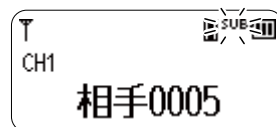
1. 「設定」、または[機能/]を短く押します。
 - 「SUB」が点滅し、サブチャンネルのスクランが一時的に停止します。
2. 「SUB」が点滅しているあいだに、[機能/]を繰り返し押し、呼び出す相手を選択します。
3. [▼]、[▲]を押して、相手の個別番号、または所属するグループ番号を選択します。
4. 他局が通信していないこと(状態表示ランプ：消灯)を確認後、[サイド1]、または[サイド2]を押しながら、マイクに向かって通話相手に呼びかけます。



1. サブチャンネルのスクランを一時的に停止する
(「SUB」点滅)



2. 呼び出す相手を選択する
(例：個別)



3. 相手の個別番号を選択する
(例：0005)



4. サブチャンネルで送信する
(「SUB」点灯)

■ サブチャンネルで受信する

サブチャンネルで受信すると、サブチャンネルに設定された通話チャンネル表示(例：CH03)になります。

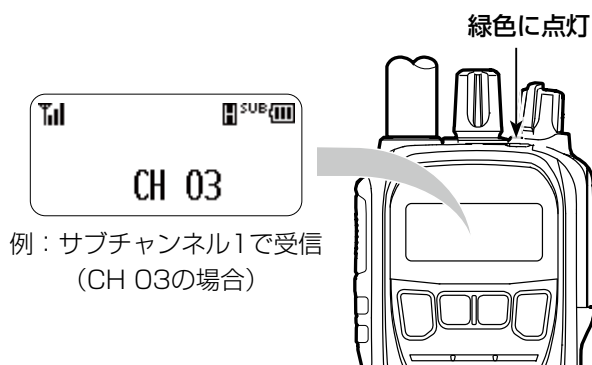
応答するときは、そのサブチャンネルが設定されている[サイド1]、または[サイド2]を押します。

※「メインPTTチャンネルの切り替え」(P.4-15)を「応答に設定したときは、[PTT]で応答できます。

ご注意

「SUB」が点灯しているあいだ、無線機は常にサブチャンネルをスクランしています。

[設定]や[機能/]の操作後など、サブチャンネルのスクランが一時的に停止中(「SUB」点滅)は、サブチャンネルで受信できませんので、ご注意ください。



3 そのほかの機能について

■ プライベートチャンネル機能

特定の通話チャンネル(例：呼出CH)をプライベートチャンネルに設定することで、よく利用する通話チャンネルとの切り替えが簡単になります。

※工場出荷時や全設定初期化時は、「呼出CH」(呼出用チャンネル：CH15)がプライベートチャンネルに設定されています。

設定モードから設定を変更できます。(P.4-10)

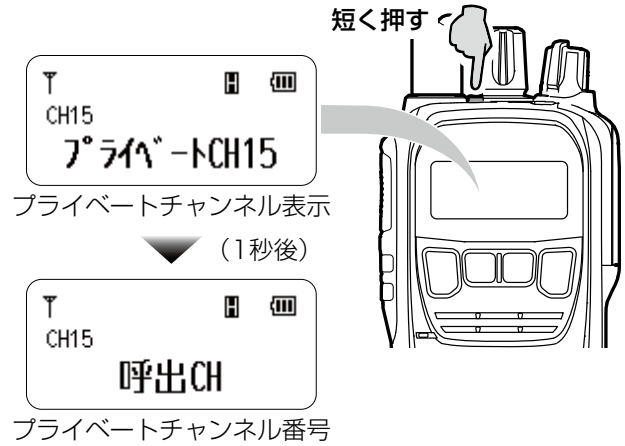
※プライベートチャンネル番号が表示されているとき、サブチャンネルPTT機能(P.3-4)は無効になり、サブチャンネルPTT機能と併用できない機能(P.3-4)も使用できません。

【操作のしかた】

[緊急呼び出し]を短く押すと、プライベートチャンネル番号に切り替わります。

同じ操作をすると、通話チャンネル番号に戻ります。

※プライベートチャンネル番号と同じ通話チャンネル番号を選択しているときは、プライベートチャンネル機能は無効です。



■ プライベートチャンネルスキャン機能

よく利用する通話チャンネル(例：CH 05)を受信しながら、プライベートチャンネル番号(例：呼出CH)を一定の時間ごとに受信(監視)できます。

※工場出荷時や全設定初期化時の状態では、使用できません。

下記の操作をする前に、設定モードでスキャンの設定(P.4-11)を「プライベート」に設定してください。


※サブチャンネルPTT機能(P.3-4)を使用している場合、プライベートチャンネルスキャン機能は使用できません。

【操作のしかた】

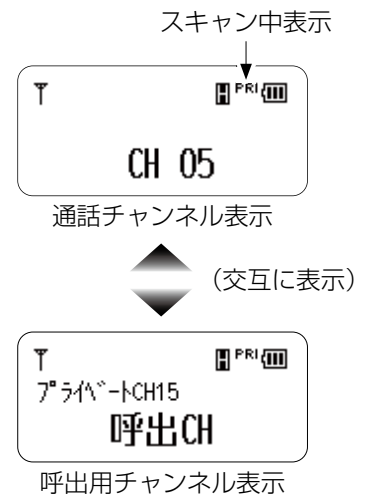
[スキャン]を割り当てた[サイド1]、[サイド2]を操作すると、「ピッ」と鳴ります。

- プライベートチャンネルスキャンを開始します。

※「呼出CH」(呼出用チャンネル：CH15)をプライベートチャンネルに設定したときは、右記のように切り替わります。

※プライベートチャンネル番号に秘話キーが設定されているときは、スキャン中に、「」が表示されます。


※プライベートチャンネル番号と同じ通話チャンネル番号を選択しているときは、スキャンしません。



3 そのほかの機能について

■ プライベートチャンネルスキャン機能(つづき)

【プライベートチャンネルスキャンを解除するには】

【設定】、【機能/ 】、【緊急呼び出し】(短押し)、または「スキャン」を割り当てた【サイド1】、【サイド2】を操作します。
※電源を入れなおしても、解除されません。

【プライベートチャンネルスキャン動作について】

- ◎スキャン中は、通話チャンネルで待ち受け中、2秒ごとにプライベートチャンネルをスキャンします。
スキャン中に緊急呼び出しをすると、スキャン動作を解除して、通話チャンネルで緊急信号を送信します。
- ◎電波を受信中は、設定モードのスキャン停止時間(P.4-11)とスキャン再開時間(P.4-11)の設定にしたがってスキャンします。
このとき、緊急呼び出しをするとスキャン動作が解除されます。
- ◎プライベートチャンネルに上空用チャンネル(S1～S15)が設定(P.4-13)されている場合は、上空用チャンネルをプライベートチャンネルスキャンの対象にできます。
- ◎スキャン中に【PTT】を押すと、通話チャンネルで送信します。

■ メモリーチャンネルスキャン機能

よく利用する通話チャンネルと、設定モードで設定したチャンネルを順次切り替える機能です。

※工場出荷時や全設定初期化時の状態では、使用できません。

下記の操作をする前に、設定モードで、スキャン機能の設定(P.4-11)を「メモリーCH」に設定してください。

※メモリーチャンネルスキャンをお使いになる前に、「通話チャンネル毎のスキャン設定」(P.4-11)でスキャン対象チャンネルを設定してください。


※サブチャンネルPTT機能(P.3-4)を使用している場合、メモリーチャンネルスキャン機能は使用できません。

【操作のしかた】

「スキャン」を割り当てた【サイド1】、【サイド2】操作をすると、「ピッ」と鳴ります。

- メモリーチャンネルスキャンを開始します。
- ※設定したチャンネルが1件だけで、その番号と同じ通話チャンネル番号を選択しているときは、スキャンしません。

【メモリーチャンネルスキャンを解除するには】

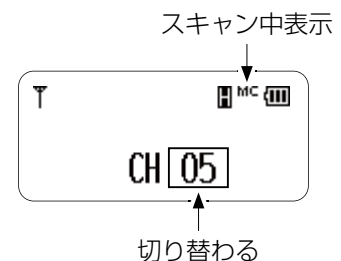
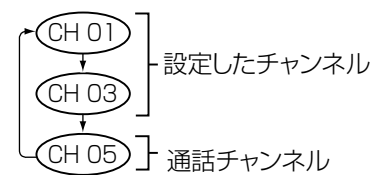
【設定】、【機能/ 】、【緊急呼び出し】(短押し)、または「スキャン」を割り当てた【サイド1】、【サイド2】を操作します。

※電源を入れなおしても、解除されません。

【メモリーチャンネルスキャン動作について】

- ◎スキャン中に緊急呼び出しをすると、スキャン動作を解除して、通話チャンネルで緊急信号を送信します。
- ◎電波を受信中は、設定モードのスキャン停止時間(P.4-11)とスキャン再開時間(P.4-11)の設定にしたがってスキャンします。
このとき、緊急呼び出しをするとスキャン動作が解除されます。
- ◎スキャン中に【PTT】を押すと、通話チャンネルで送信します。

メモリーチャンネルスキャンのイメージ



3 そのほかの機能について

■ ワンタッチアンサー機能


あらかじめ録音した音声を、[サイド1]、[サイド2]の操作により、送信する機能です。

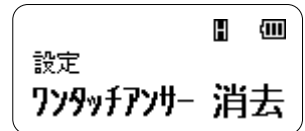
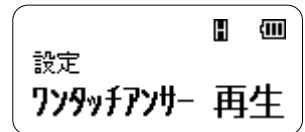
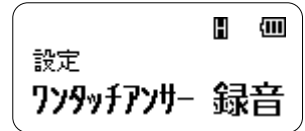
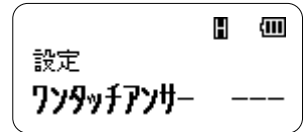
※工場出荷時や全設定初期化時の状態では、使用できません。

下記の操作をする前に、設定モードで、[サイド1]、[サイド2]の割り当て(P.4-10)を「ワンタッチアンサー」に設定してください。


※サブチャンネルPTT機能(P.3-4)を使用している場合、ワンタッチアンサー機能は使用できません。

【録音のしかた】


1. 設定モードで、[機能/- 2. [▲]を1回押して、「ワンタッチアンサー録音」を選択します。
- 3. [PTT]を押しつづけると録音します。
 - ※[PTT]をはなすと録音が停止します。
 - ※録音できる時間は10秒です。
 - [PTT]を押しつづけていても10秒後に録音が停止します。
 - ※録音データがある場合は、上書きします。



【録音した音声を再生(確認)する】

1. 設定モードで、[機能/- 2. [サイド2]を押すと録音された音声が再生されます。

【録音した音声を消去するには】

1. 設定モードで、[機能/- 2. [▲]を2回押して、「ワンタッチアンサー消去」を選択します。
- 3. [PTT]を押します。
 - 「消去中」が表示され、録音された音声が消去されます。

【操作のしかた】

待ち受け状態で「ワンタッチアンサー」を割り当てた[サイド1]、[サイド2]の操作をすると、録音した音声を表示されている通話チャンネルで送信します。

3 そのほかの機能について

■ モニター機能

モニター機能は、次のような場合に使用します。

- ◎受信音がない状態で「ザー」という音を聞きながら音量を調整するとき
- ◎ユーザーコード、相手局番号、グループ番号が異なる他局への通話を聞くと
※他局が秘話機能を使用している場合は、秘話処理された電子音だけが聞こえます。

【操作のしかた】

[サイド1]、[サイド2]を押しているあいだ、有効になります。

※工場出荷時や全設定初期化時の状態では、使用できません。

設定モードで、[サイド1]、[サイド2]の割り当て[長押](P.4-10)を「モニタ」に設定してください。

※サブチャンネルPTT機能(P.3-4)を使用している場合、モニター機能は使用できません。


■ ポケットビープ機能

下記の呼び出しを受けたとき、ビープ音、またはバイブレーター*で通知する機能です。

このときのビープ音、またはバイブレーター*は、いずれかのキー、または[CH切替]を操作([緊急呼び出し]は短押し)すると、停止できます。

※サブチャンネルPTT機能(P.3-4)を使用している場合、ポケットビープ機能は使用できません。


【ユーザーコードによる呼び出しを受けたとき】

「

【個別呼び出しによる呼び出しを受けたとき】

ビープ音、またはバイブレーター*で通知します。

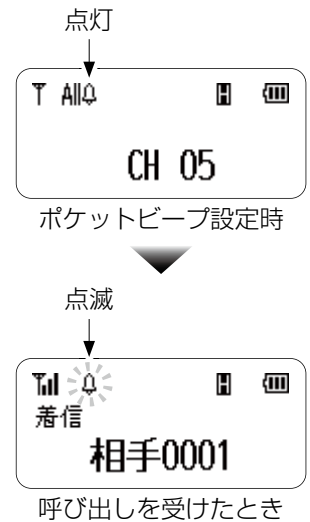
※ユーザーコードと併用したときも同じです。

※個別呼び出しを受けたときは、ポケットビープの設定に関わらず、「

※工場出荷時や全設定初期化時の状態では、使用できません。

設定モードから設定を変更できます。(P.4-5)

★バイブレーター機能は、IC-DPR7SBT限定の機能です。



■ ポケットビープメロディー機能

ポケットビープ機能で呼び出しを受けたときの呼び出し音をメロディー音(9種類)に設定できます。

このときに鳴るメロディー音は、いずれかのキー、または[CH切替]を操作([緊急呼び出し]は短押し)すると、停止できます。

※工場出荷時や全設定初期化時の状態では、使用できません。

設定モードから設定を変更できます。(P.4-5)

※呼び出しを受けたときの表示は、ポケットビープ機能と同じです。

3 そのほかの機能について

■ 着信履歴機能

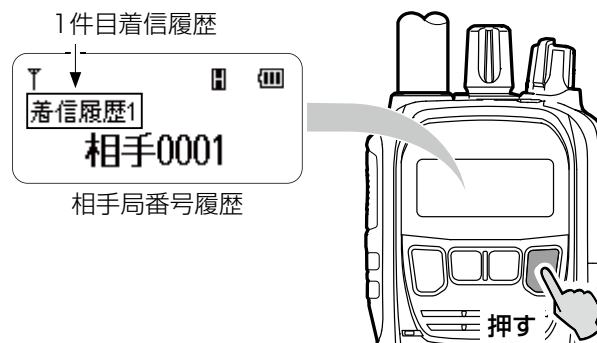
個別呼び出し、およびグループ呼び出しを受けたとき、相手局番号(相手の自局番号)やグループ番号が記憶されます。記憶された相手局番号は、呼び出しに利用できます。

※工場出荷時や全設定初期化時の状態では、使用できません。

設定モードから設定を変更できます。(P.4-8)

【着信履歴の確認と呼び出しについて】

1. 右図のように、「着信履歴1」と表示されるまで、**[機能/☎]**を押します。
 - ※「着信履歴1」が表示されないときは、着信履歴がありません。
 - ※着信履歴が2件以上の場合、**[▲]**、**[▼]**を繰り返し押しすと、確認できます。
 - ※「着信履歴1」から順に最新の履歴となるように記憶します。
2. 呼び出す相手、またはグループの番号を表示した状態で、**[PTT]**を押しながら、相手に呼びかけます。
 - **[状態表示]**が赤色に点灯します。



【着信履歴の内容や件数に異常があると感じたときは】

設定モードの着信履歴消去(P.4-9)から履歴を消去してください。

それでも改善しない場合は、すべての設定を初期化(P.4-20)してください。

【着信履歴件数と履歴の消去について】

※最大10件の着信履歴を記憶できます。

10件を超えると、古い着信履歴から削除されます。

※全局呼び出しの場合は、着信履歴に記憶されません。

※着信履歴の消去(P.4-9)は、設定モードからできます。

3 そのほかの機能について

■ 充電モード

無線機を充電しながら音声をモニターできるモードです。

無線機の電源を入れたまま充電を開始すると、自動的に充電モードへ移行します。

※音量調整できる範囲は、「0～10」です。

※スキャン中に充電モードへ移行した場合は、自動的にスキャンが解除され、運用チャンネルで待ち受けをします。

スキャンを再開する場合は、無線機を充電器から取りはずしたあと、「スキャン」を割り当てた[サイド1]、[サイド2]を押します。

【BC-226/BC-227(急速充電器)、BC-214(6連急速充電器)の場合】

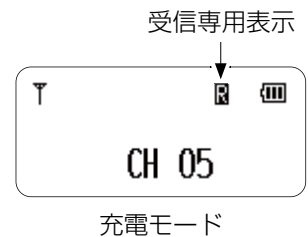
無線機を挿入してから数秒後に、充電モードへ移行します。

※受信中に無線機を挿入すると、受信が終わってから数秒後に、充電モードへ移行します。

※充電完了時には、充電モードが解除されます。

【BC-225(インテリジェントチャージャー)の場合】

挿入直後に充電モードへ移行します。



ご注意

◎送信中は、無線機を充電器へ挿入しないでください。

◎不用意に連続で抜き差ししないでください。

※連続で抜き差ししているあいだは、充電モードへ移行しません。

◎充電モード時は、送信できません。

※受信専用の「**R**」が点灯します。

◎充電モード時は、エマージェンシー機能(P.3-1)、マンダウン機能(P.3-3)、およびローンワーカー機能(P.3-3)が動作しません。

※他局の緊急呼び出しを受信はできますが、応答はできません。

◎BC-226、BC-227、およびBC-214で充電モードを使用する場合は、[電源/音量]の位置にご注意ください。

※充電モードが解除されると、音量調整できる範囲が「0～32」に戻りますので、[電源/音量]の位置によっては、大きな音量で音声聞こえる場合があります。

3 そのほかの機能について

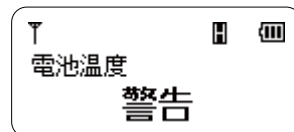
■ バッテリー内部温度警告機能

バッテリーパックの内部温度が上昇すると、ビープ音とメッセージで注意を喚起する機能です。

ご注意

バッテリー内部温度警告機能は、温度上昇によるバッテリーパックの破裂、発火や火災、発熱や発煙を防ぐものではありません。

バッテリーパックの内部温度が上昇したら、温度が下がるまで、無線機の使用を中止してください。



バッテリー内部温度
警告表示

■ バッテリーチェック機能

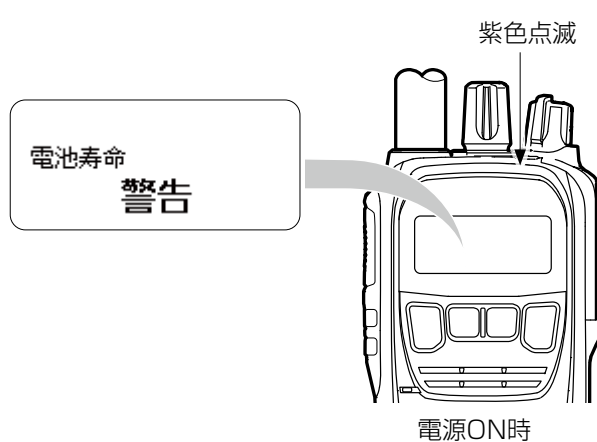
バッテリーパックの劣化をお知らせする機能です。

無線機の電源を入れたときに、バッテリーパックの健康度を読み込み、健康度が低い場合、ビープ音とメッセージでお知らせします。

※右図のように、「電池寿命 警告」が表示された場合は、早めのバッテリーパックの交換をおすすめします。

ご参考

バッテリーパックが劣化すると、充電にかかる時間が長くなったり、バッテリーの持ちが悪くなったりします。バッテリーパックの劣化を防ぐため、高温下での使用や、過充電/過放電は、できるだけ避けてください。



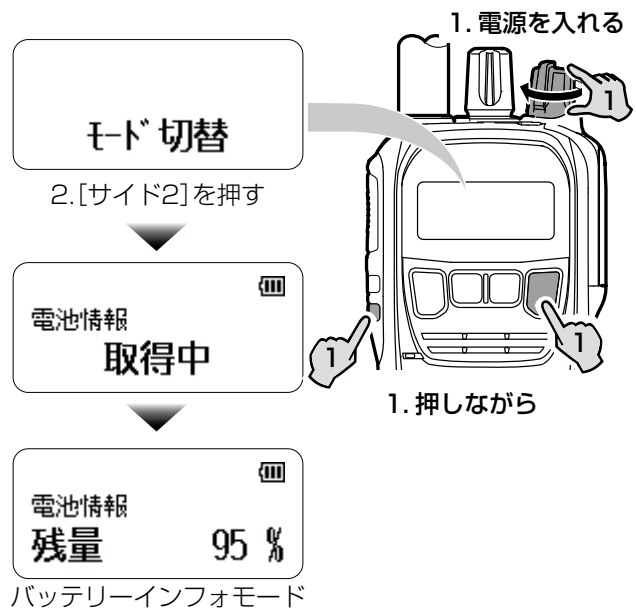
3 そのほかの機能について

■ バッテリーインフォモード

バッテリーパックのステータスを読み込み、残量や健康度などの情報を確認できるモードです。

【操作のしかた】

- 無線機の電源を切った状態で、[機能/]と[サイド2]を押しながら、電源を入れます。
 - 「ピッ」と鳴って、「モード切替」が表示されます。
 - ※「モード切替」が表示されなかったときは、電源を切り、操作をやりなおしてください。
- 「モード切替」が表示されているあいだに、再度、[サイド2]を短く押します。
 - 「ピピッ」と鳴って、「取得中」が表示されたあと、「残量」が表示されていれば、バッテリーインフォモードに移行しています。

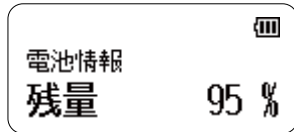


【バッテリーパックの情報について】

[▼]、[▲]を押して、項目の切り替えができます。
[PTT]を押すと、無線機を再起動します。

◎残量表示

バッテリー残量が「0%～100%」で表示されます。



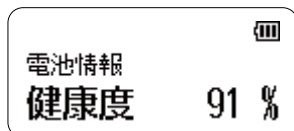
ご注意

残量表示と「[]」表示は検出方式が異なるため、表示に差が生じる場合があります。

◎健康度表示

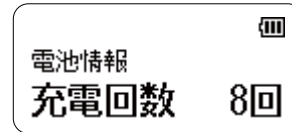
バッテリーパックの健康度が「0%～100%」で表示されます。

- ※健康度は、あくまで目安としてご覧ください。
- ※使用環境によって値が変化する場合があります。



◎充電回数表示

現在までの充電回数が表示されます。



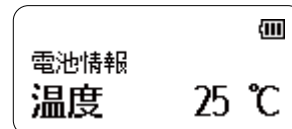
バッテリーパックの容量分の充電をすると、実際の充電回数に関係なく、充電回数1回とカウントされます。
例：BP-290(容量約2000mAh)に約1000mAhの充電を2回すると、充電回数1回とカウントする

ご注意

製造上、および保管上の理由により、お買い上げ直後のバッテリーパックでも、充電回数が複数回になっている場合があります。

◎温度表示

バッテリーの温度が表示されます。



◎品名表示

ご使用のバッテリーパックの品名が表示されます。



4

各種機能の設定

■ 設定項目一覧

各機能は、運用状況に応じて、設定モードからお好みの設定に変更できます。

※□(網かけあり)の項目は初期設定値のときに表示される項目です。

設定値を変更すると、□(網かけなし)の項目が表示されます。

機能名称	本体表示		初期設定値	参照
	ガイド	メッセージ		
① ポケットビープ動作設定 IC-DPR7SBT 限定	ポケットビープ	動作	OFF	P.4-5
② ポケットビープ	ポケットビープ	ポケットビープ	OFF (IC-DPR7S) 30回(IC-DPR7SBT)	P.4-5
③ ポケットビープメロディー	ポケットビープ	Xロディ	1	P.4-5
④ バイブレーター設定 IC-DPR7SBT 限定	ポケットビープ	バイブレーター	1	P.4-5
⑤ バイブレーション振動時間 IC-DPR7SBT 限定	ポケットビープ	振動時間	30秒	P.4-5
⑥ 送信モニタービープ	設定	送信ビープ	ON	P.4-6
⑦ 終話信号受信ビープ	設定	終話ビープ	ON	P.4-6
⑧ ビープ音量設定	設定	ビープ音量	連動	P.4-6
⑨ 音量固定時レベル	設定	ビープ音量	15	P.4-6
⑩ ユーザーコード	設定	ユーザーコード	共通	P.4-6
⑪ 秘話	設定	秘話	共通	P.4-6
⑫ チャンネル番号音声案内	設定	音声案内	OFF	P.4-6
⑬ マイクゲイン	設定	マイクゲイン	0	P.4-7
⑭ VOX	設定	VOX	OFF	P.4-7
⑮ VOX感度	設定	VOX 感度	3	P.4-7
⑯ VOXディレイ	設定	VOX ディレイ	1.5秒	P.4-7
⑰ 個別呼び出し設定	設定	個別呼出	OFF	P.4-7
⑱ 自局番号設定	自局	自局番号	0001	P.4-7
⑲ 相手局番号表示	機能	相手表示	ON	P.4-8
⑳ グループ番号表示	機能	グループ表示	OFF	P.4-8
㉑ メンバー指定	リスト	グループ	01	P.4-8
㉒ 着信履歴	機能	着歴表示	OFF	P.4-8
㉓ 終話後表示	設定	終話表示	話前	P.4-8
㉔ 着信履歴消去	履歴消去	着信履歴	---	P.4-9
㉕ エマージェンシー	設定	エマージェンシー	OFF	P.4-9
㉖ マンダウン機能	設定	マンダウン機能	OFF	P.4-9
㉗ ローンワーカー機能	設定	ローンワーカー	OFF	P.4-9
㉘ 録音再生機能	設定	録音再生	OFF	P.4-9
㉙ 録音履歴消去	履歴消去	録音履歴	---	P.4-10
㉚ プライベートチャンネル	設定	プライベートCH	ON	P.4-10
㉛ プライベートチャンネル番号	プライベートCH	CH	呼出	P.4-10

4 各種機能の設定

■ 設定項目一覧(つづき)

各機能は、運用状況に応じて、設定モードからお好みの設定に変更できます。

※□(網かけあり)の項目は初期設定値のときに表示される項目です。

設定値を変更すると、□(網かけなし)の項目が表示されます。

機能名称	本体表示		初期設定値	参照
	ガイド	メッセージ		
㉓ サイドキーの割り当て(サイド1/サイド2)	設定サイドキー-1/ 設定サイドキー-2	短押	OFF	P.4-10
	設定サイドキー-1/ 設定サイドキー-2	長押	OFF	P.4-10
㉔ スキャン機能	設定	スキャン	アラート	P.4-11
㉕ 通話チャンネル毎のスキャン設定	スキャン	CH	スキャン対象外	P.4-11
㉖ スキャン停止時間	スキャン	停止時間	10秒	P.4-11
㉗ スキャン再開時間	スキャン	再開時間	5秒	P.4-11
㉘ 通話後スキャン動作	スキャン	終話動作	解除	P.4-12
㉙ スキャン一時スキップ機能	スキャン	一時スキップ	5分	P.4-12
㉚ ワンタッチアンサー機能	設定	ワンタッチアンサー	---	P.4-12
㉛ 一時音量切り替え	設定	一時音量	-5	P.4-12
㉜ パワーセーブ	設定	パワーセーブ	OFF	P.4-12
㉝ キーロック時の音量操作	設定	ロック動作	音量可	P.4-12
㉞ オートキーロック	設定	オートキーロック	OFF	P.4-13
㉟ 上空用チャンネル	設定	上空受信	OFF	P.4-13
㊱ LCDコントラスト	設定	コントラスト	12	P.4-13
㊲ バックライト設定	設定	バックライト	AUTO	P.4-13
㊳ バックライト輝度	設定	輝度	明るい	P.4-13
㊴ 外部電源	設定	外部電源	GND	P.4-13
㊵ ノイズキャンセル	設定	ノイズキャンセル	OFF	P.4-13
㊶ イヤホン設定	設定	イヤホン設定	OFF	P.4-13
㊷ 送信イコライザー	イコライザー	送信	OFF	P.4-14
㊸ 受信イコライザー	イコライザー	受信	OFF	P.4-14

4 各種機能の設定

■ 設定項目一覧(つづき)

各機能は、運用状況に応じて、設定モードからお好みの設定に変更できます。

※□(網かけあり)の項目は初期設定値のときに表示される項目です。

設定値を変更すると、□(網かけなし)の項目が表示されます。

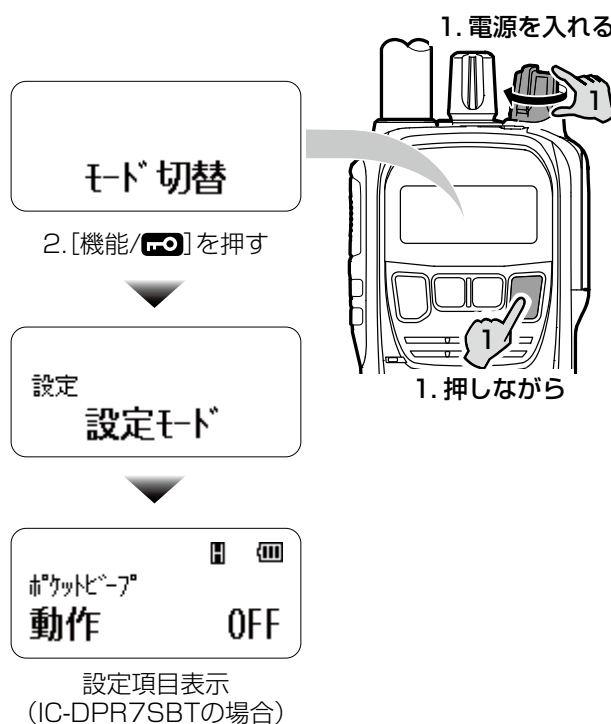
機能名称	本体表示		初期設定値	参照	
	ガイド	メッセージ			
53 サブチャンネルPTT	サブチャンネルPTT	サブ CH	OFF	P.4-14	
54 サブチャンネル1設定	サブチャンネルPTT	サブ CH1	CH 01	P.4-14	
55 サブチャンネル2設定	サブチャンネルPTT	サブ CH2	CH 02	P.4-14	
56 メインPTTのチャンネル数切り替え	サブチャンネルPTT	メイン PTT	CH 固定	P.4-15	
57 サブPTT動作	サブチャンネルPTT	サブ PTTキー	短押	P.4-15	
58 VS-3サイドキー操作	IC-DPR7SBT 限定	サブチャンネルPTT	VS-3 サイドキー	OFF	P.4-15
59 ビープ設定 メインチャンネル	サブチャンネルPTT	メイン	OFF	P.4-15	
60 ビープ設定 サブチャンネル1	サブチャンネルPTT	サブ 1	OFF	P.4-15	
61 ビープ設定 サブチャンネル2	サブチャンネルPTT	サブ 2	OFF	P.4-16	
62 送信後スキャン 再開時間	サブチャンネルPTT	TX 後スキャン	終話	P.4-16	
63 受信後スキャン 再開時間	サブチャンネルPTT	RX 後スキャン	終話	P.4-16	
64 操作後スキャン 再開時間	サブチャンネルPTT	ソサ後スキャン	10秒	P.4-16	
65 サーチタイマー設定 メイン⇒サブ1	サブチャンネルPTT	サーチ M>サ 1	OFF	P.4-16	
66 サーチタイマー設定 サブ1⇒メイン	サブチャンネルPTT	サーチ サ 1> M	OFF	P.4-17	
67 サーチタイマー設定 メイン⇒サブ2	サブチャンネルPTT	サーチ M>サ 2	OFF	P.4-17	
68 サーチタイマー設定 サブ2⇒メイン	サブチャンネルPTT	サーチ サ 2> M	OFF	P.4-17	
69 サーチタイマー設定 サブ1⇒サブ2	サブチャンネルPTT	サーチ サ 1>サ 2	OFF	P.4-17	
70 サーチタイマー設定 サブ2⇒サブ1	サブチャンネルPTT	サーチ サ 2>サ 1	OFF	P.4-17	
71 Bluetooth 機能	IC-DPR7SBT 限定	設定	Bluetooth	OFF	P.4-18
72 Bluetooth 検索(ヘッドセット)	IC-DPR7SBT 限定	検索HSリスト	検索 HS	---	P.4-18
73 Bluetooth 検索(データ端末)	IC-DPR7SBT 限定	検索DTリスト	検索 DT	---	P.4-18
74 Bluetooth 機器一覧	IC-DPR7SBT 限定	ペアリングリスト	-	機器なし	P.4-18
75 Bluetooth 機器削除	IC-DPR7SBT 限定	削除リスト	-	機器なし	P.4-18
76 Bluetooth ボリューム連動	IC-DPR7SBT 限定	Bluetooth	音量	連動	P.4-18
77 Bluetooth 音声ボリューム	IC-DPR7SBT 限定	Bluetooth	音声 VOL	32	P.4-18
78 Bluetooth パワーセーブ	IC-DPR7SBT 限定	Bluetooth	パワーセーブ	OFF	P.4-19
79 Bluetooth ワンタッチPTT	IC-DPR7SBT 限定	Bluetooth	ワンタッチ PTT	OFF	P.4-19
80 Bluetooth PTT&マイク切り替え	IC-DPR7SBT 限定	Bluetooth	PTT&MIC	HS+OP	P.4-19
81 Bluetooth AF出力切り替え	IC-DPR7SBT 限定	Bluetooth	AF 切替	HS	P.4-19
82 Bluetooth マイクレベルオフセット	IC-DPR7SBT 限定	Bluetooth	マイク LV オフセット	0	P.4-20
83 Bluetooth AFレベルオフセット	IC-DPR7SBT 限定	Bluetooth	AF LV オフセット	8	P.4-20
84 Bluetooth 初期化	IC-DPR7SBT 限定	Bluetooth	リセット	NO	P.4-20
85 全設定初期化		設定	リセット	NO	P.4-20

4 各種機能の設定

■ 設定モードに移行するには

【操作のしかた】

- 無線機の電源を切った状態で、[機能/☎]を押しながら、電源を入れます。
 - 「ピッ」と鳴って、「モード切替」が表示されます。
 - ※「モード切替」が表示されなかったときは、電源を切り、操作をやりなおしてください。
- 「モード切替」が表示されているあいだに、再度、[機能/☎]を短く押します。
 - 「ピピッ」と鳴って、「設定モード」が表示されたあと、「動作」、または「ポケットビープ」が表示されていれば、設定モードに移行しています。

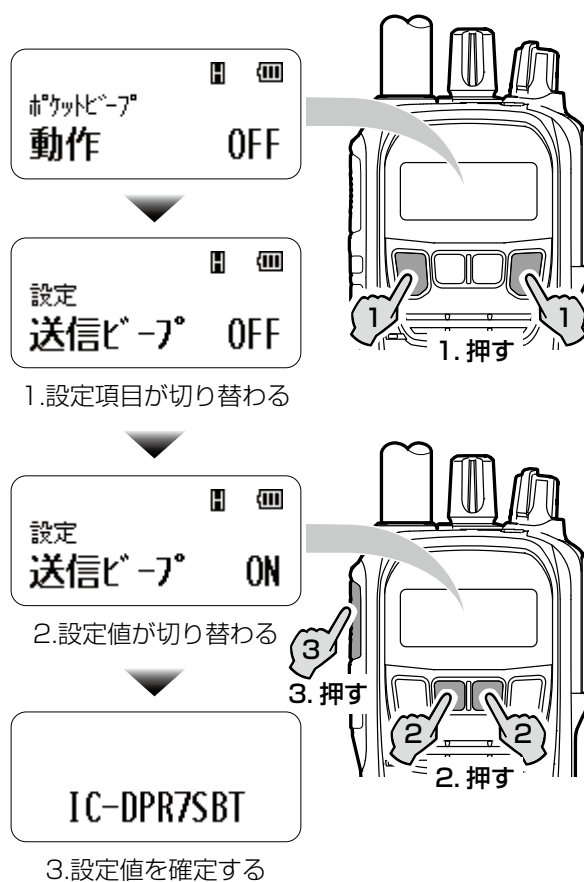


■ 設定のしかた

設定モードに移行後、下記の手順で各機能の設定を変更できます。

【操作のしかた】

- [機能/☎]、または[設定]を押して、設定項目(①～⑧)を選択します。
- 目的の機能名称で、[▼]、[▲]を押します。
 - 設定値が切り替わります。
 - ※ほかの機能も変更するときは、手順1と2の操作を繰り返します。
- [PTT]を押します。
 - 選択した設定値が確定され、運用できる状態になります。
 - ※設定値を変更後に電源を切った場合でも、設定値が確定されます。
 - ※設定モードを解除するまで通話できません。



4 各種機能の設定

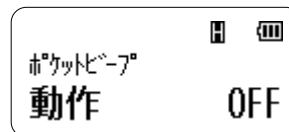
■ 設定項目について

操作については、4-4ページをご覧ください。

① ポケットビープ動作設定 IC-DPR7SBT 限定 (初期設定値：OFF)

ユーザーコードによる呼び出し、または個別呼び出し機能による個別呼び出しを受けたときの通知動作を設定します。

- OFF : ポケットビープを使用しない
- ビープ : ビープ音で通知する
- バイブ : バイブレーションで通知する
- ビープ+バイブ : ビープ音とバイブレーションで通知する



② ポケットビープ (初期設定値 IC-DPR7S : OFF IC-DPR7SBT : 30回)

ポケットビープ機能のビープ音パターンを設定します。

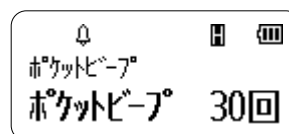
★の選択肢は、IC-DPR7Sの場合だけ表示されます。

- OFF★ : ポケットビープを使用しない
- 30回 : 「トルルル」と30回連続で鳴る
- 3回 : 「トルルル」と3回連続で鳴る
- 1分 : 「トルルル」と3回連続で鳴ったあと、1分ごとに1回鳴る
- 連続 : 「トルルル」と3回連続で鳴ったあと、2秒ごとに1回鳴る
- PIー : 「ピー」と1回鳴る
- PPP : 「ピピピ」と1回鳴る
- メロディ : [ポケットビープメロディ] (③) で設定したメロディが鳴る

※IC-DPR7SBTでは、[ポケットビープ動作設定] (①) を「ビープ」、または「ビープ+バイブ」に設定したとき、表示されます。

※「サブチャンネルPTT」 (⑤) (P.4-14) が「OFF」以外に設定したときは、ポケットビープ機能が無効になり、項目の表示もされません。

※グループ、または全局呼び出しを受けたときは、「OFF」以外に設定されていても鳴りません。

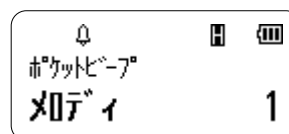


③ ポケットビープメロディ (初期設定値：1)

ポケットビープ着信時のメロディを設定します。

- 選択肢：1～9

※「ポケットビープ」 (②) を「メロディ」に設定したとき、表示されます。



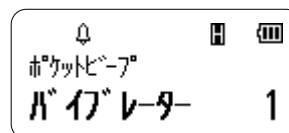
④ バイブレーター設定 IC-DPR7SBT 限定 (初期設定値：1)

ポケットビープ機能の振動パターンを設定します。

- 選択肢：1～4、連動

※「ポケットビープ動作設定」 (①) を「バイブ」、または「ビープ+バイブ」に設定したとき、表示されます。

※「連動」に設定すると、設定したビープ音、またはメロディに連動して振動します。「ポケットビープ動作設定」 (①) を「バイブ」に設定しているときは、連動するビープ音、またはメロディが鳴らないため、振動しません。

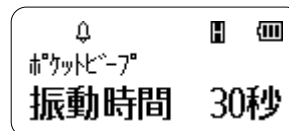


⑤ バイブレーション振動時間 IC-DPR7SBT 限定 (初期設定値：30秒)

ポケットビープ機能の振動時間を設定します。

- 設定範囲：連続、1～255秒

※「連続」に設定すると、[電源/音量]以外の操作をするまで、振動しつづけます。



4 各種機能の設定

■ 設定項目について(つづき)

操作については、4-4ページをご覧ください。

⑥ 送信モニタービーブ (初期設定値：ON)

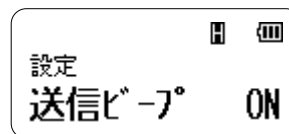
[PTT]を押したときのビーブ音を設定します。

- OFF：ビーブ音(ピッ)が鳴らない
- ON：ビーブ音(ピッ)が鳴る

※「サブチャンネルPTT」(③)(P.4-14)が「OFF」以外に設定したときは、送信モニタービーブ機能が無効になり、項目の表示もされません。

※送信できない場合など、禁止されている操作は、送信モニタービーブの設定に関係なく、音色の異なるビーブ音が鳴ります。

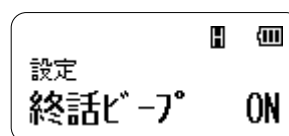
※VOX機能による送信時は、鳴りません。



⑦ 終話信号受信ビーブ (初期設定値：ON)

通話相手の終話信号を受信したときのビーブ音を設定します。

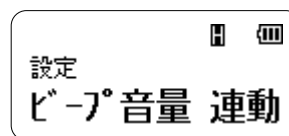
- OFF：ビーブ音(ピッ)が鳴らない
- ON：ビーブ音(ピッ)が鳴る



⑧ ビーブ音量設定 (初期設定値：連動)

ポケットビーブが動作したときや、キー操作をしたときなどの、ビーブ音量を設定します。

- 連動：無線機本体で調整した音量に連動する
- 固定：「音量固定時レベル」(⑨)で設定された音量に固定する

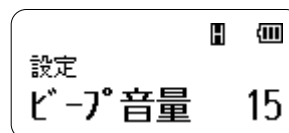


⑨ 音量固定時レベル (初期設定値：15)

「ビーブ音量設定」(⑧)を「固定」に設定したときの、ビーブ音の音量を設定します。

- 設定範囲：0～32

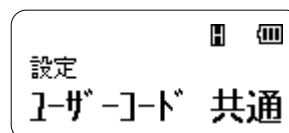
※「ビーブ音量設定」(⑧)を「固定」に設定したとき、表示されます。



⑩ ユーザーコード (初期設定値：共通)

ユーザーコードについて設定します。

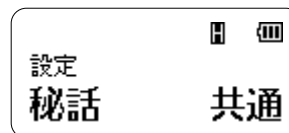
- CH毎：通話チャンネルごとに異なるユーザーコードを使用する
- 共通：通話チャンネル共通のユーザーコードを使用する



⑪ 秘話 (初期設定値：共通)

秘話キーについて設定します。

- CH毎：通話チャンネルごとに異なる秘話キーを使用する
- 共通：通話チャンネル共通の秘話キーを使用する



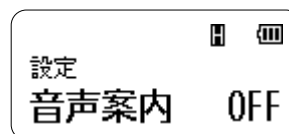
⑫ チャンネル番号音声案内 (初期設定値：OFF)

通話チャンネル番号を読み上げる機能を設定します。

- OFF：使用しない
- ON：電源を入れたときや、チャンネルを変更したときに、選択された通話チャンネル番号を読み上げる

※「呼出CH」(呼出用チャンネル：CH15)選択時は、「呼び出し」と読み上げます。

※「CH S1～CH S15」(上空チャンネル)選択時は、「上空1」(例：CH S1)と読み上げます。



4 各種機能の設定

■ 設定項目について(つづき)

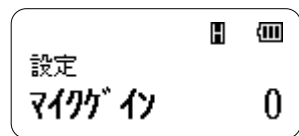
操作については、4-4ページをご覧ください。

13 マイクゲイン (初期設定値：0)

マイク感度を設定します。

- 設定範囲(3dB刻み)：-15(低)~0(中)~9(高)

※感度を上げる(数値を大きくする)と比較的小さな声でも通信相手に聞こえやすくなりますが、周りの音も聞こえやすくなります。



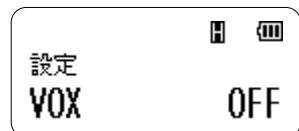
14 VOX (初期設定値：OFF)

VOX機能を設定します。

「内部」、「Bluetooth」のいずれかに設定すると、マイクに向かって呼びかけるだけで、送信できます。

★の選択肢は、IC-DPR7SBTだけで表示されます。

- OFF : VOX機能を使用しない
- 内部 : 無線機本体のマイクによるVOX送信ができる
- Bluetooth* : BluetoothのマイクによるVOX送信ができる



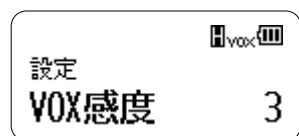
15 VOX感度 (初期設定値：3)

VOX感度を設定します。

- 設定範囲：1(低)~3(中)~5(高)

※「VOX」(14)を「OFF」以外に設定したとき、表示されます。

※VOX感度を上げる(数値を大きくする)と、比較的小さな声でも送信できますが、周りの雑音でも送信しやすくなりますので、ご注意ください。



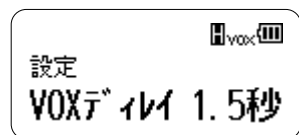
16 VOXディレイ (初期設定値：1.5秒)

VOX使用時、送信停止までの遅延時間を設定します。

話している途中で受信に切り替わる場合は、長く設定してください。

- 設定範囲：0.5(短)~1.5(中)~3.0(長)

※「VOX」(14)を「OFF」以外に設定したとき、表示されます。

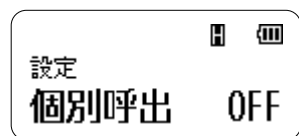


17 個別呼び出し設定 (初期設定値：OFF)

同じ通話チャンネルを使用する相手のうち、通話したい相手だけを呼び出す機能を設定します。

- OFF : 使用しない
- ON : 使用する

※無線機本体のパワーセーブ機能と併用できないため、「ON」に設定すると、「パワーセーブ」(4)(P.4-12)は、自動的に「OFF」になり、変更できません。

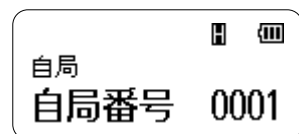


18 自局番号設定 (初期設定値：0001)

個別呼び出しを受けるための自局番号を設定します。

- 設定範囲：0001~9999

※「個別呼び出し設定」(17)を「ON」に設定したとき、表示されます。



【編集できる桁を変更するには】

1. [設定]を長く(約1秒)押します。
 - 上位1桁目が点滅します。
2. 上位2桁目以降は、[設定]を繰り返し押します。
3. 編集を終了するとき、[機能/]を短く押す、または[設定]を長く(約1秒)押します。
 - 桁の点滅が点灯に変わります。

4 各種機能の設定

■ 設定項目について(つづき)

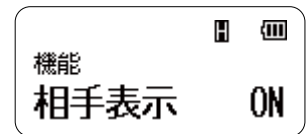
操作については、4-4ページをご覧ください。

19 相手局番号表示 (初期設定値：ON)

個別呼び出しをする相手の自局番号を選択する項目の表示を設定します。

- OFF：表示しない
- ON：表示する

※「個別呼び出し設定」(17)(P.4-7)を「ON」に設定したとき、表示されます。

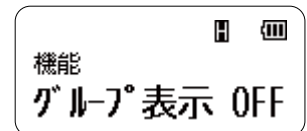


20 グループ番号表示 (初期設定値：OFF)

グループ呼び出しをする相手のグループ番号を選択する項目の表示を設定します。

- OFF：表示しない
- ON：表示する

※「個別呼び出し設定」(17)(P.4-7)を「ON」に設定したとき、表示されます。



21 メンバー指定 (初期設定値：すべてメンバー指定しない)

メンバー指定(点灯)したグループ番号(01～10)でグループ呼び出しを受けると着信します。

- 点灯：メンバー指定する
- 消灯：メンバー指定しない

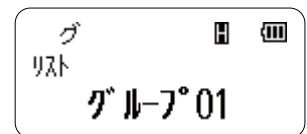
※「個別呼び出し設定」(17)(P.4-7)を「ON」に設定したとき、表示されます。

※設定は、[サイド2]を押すごとに、切り替わります。

※複数のグループ番号をメンバーに指定できます。

[▼]、[▲]を押して、指定するグループ番号を選択します。

※メンバー指定をしていないグループ番号(消灯)でグループ呼び出しを受けても、着信しません。



22 着信履歴 (初期設定値：OFF)

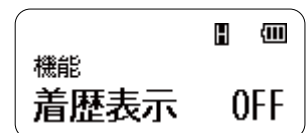
個別呼び出し、またはグループ呼び出しを受けたとき、相手局番号やグループ番号を着信履歴(P.3-13)として表示するかどうかを設定します。

- OFF：表示しない
- ON：表示する

※「個別呼び出し設定」(17)(P.4-7)を「ON」に設定したとき、表示されます。

※「サブチャンネルPTT」(18)(P.4-14)を「OFF」以外に設定したときは、着信履歴機能が無効になり、項目の表示もされません。

※着信履歴は、「着歴表示 OFF」のときも記憶されます。



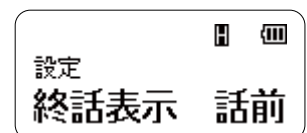
23 終話後表示 (初期設定値：話前)

通話を終了後、待ち受け状態での表示内容を設定します。

- 話前：通話前の表示に戻る
- CH：通話チャンネル表示に戻る

※「個別呼び出し設定」(17)(P.4-7)を「ON」に設定したとき、表示されます。

※個別呼び出しを受けて応答しなかった場合は、相手局番号が点滅表示されます。(P.2-6)



4 各種機能の設定

■ 設定項目について(つづき)

操作については、4-4ページをご覧ください。

24 着信履歴消去 (初期設定値：――)

自局番号やグループ番号の変更により、着信履歴を個別呼び出しなどに利用できなくなった場合、その履歴を消去します。

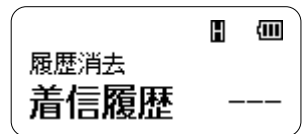
- ―― : 着信履歴を消去しない
- 消去 : [PTT]を押すと、着信履歴を消去する

※「個別呼び出し設定」(17)(P.4-7)を「ON」に設定したとき、表示されます。

※「サブチャンネルPTT」(53)(P.4-14)が「OFF」以外に設定したときは、着信履歴消去機能が無効になり、項目の表示もされません。

※消去後、再度[PTT]を押すと、設定モードが解除されます。

※「消去」を選択後、[PTT]を押さない状態で、ほかの設定項目に移動したときは、消去しないと認識され、「――」に切り替わります。

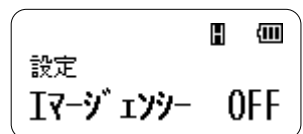


25 エマージェンシー (初期設定値：OFF)

緊急呼び出し(エマージェンシー)機能を設定します。

- OFF : 使用しない
- ON : 使用する

※緊急呼び出し機能を使用するには、この機能と個別呼び出し機能の両方を送信側と受信側の無線機に設定してください。

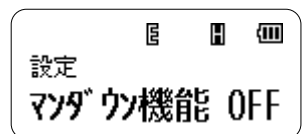


26 マンダウン機能 (初期設定値：OFF)

本製品を身に付けた状態で人が倒れるなど、本製品が60度以上傾いた状態がしばらく、自動的に緊急呼び出し(エマージェンシー)をするマンダウン機能を設定します。

- OFF : 使用しない
- ON : 使用する

※「エマージェンシー」(25)を「ON」に設定したとき、表示されます。

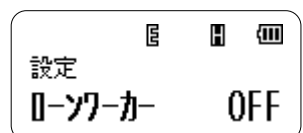


27 ローンワーカー機能 (初期設定値：OFF)

本製品を一定時間操作しなかった場合、自動的に緊急呼び出し(エマージェンシー)をするローンワーカー機能を設定します。

- OFF : 使用しない
- ON : 使用する

※「エマージェンシー」(25)を「ON」に設定したとき、表示されます。

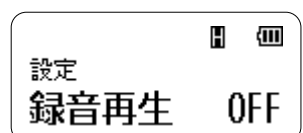


28 録音再生機能 (初期設定値：OFF)

自局宛の通話を録音する機能を設定します。

- OFF : 使用しない
- ON : 使用する

※「サブチャンネルPTT」(53)(P.4-14)が「OFF」以外に設定したときは、録音再生機能が無効になり、項目の表示もされません。



4 各種機能の設定

■ 設定項目について(つづき)

操作については、4-4ページをご覧ください。

29 録音履歴消去

(初期設定値：――)

録音した音声の履歴を消去します。

- ―― : 録音履歴を消去しない

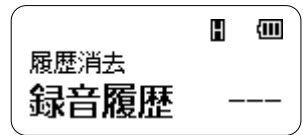
- 消去 : [PTT]押すと、録音履歴を消去する

※「録音再生機能」(28)(P.4-9)を「ON」に設定したとき、表示されます。

※消去後、再度[PTT]を押すと、設定モードが解除されます。

※「消去」を選択後、[PTT]を押さない状態で、ほかの設定項目に移動したときは、消去しないと認識され、「――」に切り替わります。

※「サブチャンネルPTT」(5)(P.4-14)が「OFF」以外に設定したときは、録音再生機能が無効になり、項目の表示もされません。



30 プライベートチャンネル

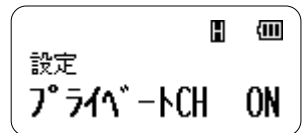
(初期設定値：ON)

プライベートチャンネル機能(P.3-9)を設定します。

- OFF : 使用しない

- ON : 使用する

※「ON」に設定すると、[緊急呼び出し]を短く押すことで、プライベートチャンネルへ切り替えます。



31 プライベートチャンネル番号

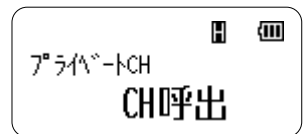
(初期設定値：呼出)

通話チャンネル、または上空用チャンネル(S1～S15)からプライベートチャンネルを設定します。

- 設定範囲：01～14、呼出、16～82、S1～S15*

※「プライベートチャンネル」(30)を「ON」に設定したとき、表示されます。

★「上空用チャンネル」(44)(P.4-13)を「ON」に設定したとき、表示されます。



32 サイドキーの割り当て

(初期設定値：OFF)

[サイド1]、[サイド2]を短く、または長く(約1秒)押したときの動作を設定します。

- OFF : 使用しない

- モニタ*1*2 : モニター機能(P.3-12)を使用する

- CH : 表示を通話チャンネルに切り替える

- スキャン*2 : スキャン機能(P.3-9、P.3-10)を使用する

- ワンタッチアンサー*2 : ワンタッチアンサー機能(P.3-11)を使用する

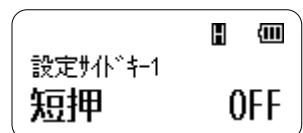
- 一時スキップ*2 : スキャン一時スキップ機能を使用する

※スキャン一時停止時に、そのときのチャンネルを、メモリーチャンネルスキャンの対象から除外する機能です。

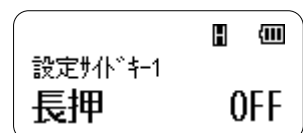
- 録音停止*2 : 録音の一時停止と再開をする

- 一時音量 : 一時的に音量を変更する

- ワンタッチ再生*2 : 録音機能(「簡易取扱説明書」P.14)で録音した最新の音声再生する



例：[サイド1]短押し



例：[サイド1]長押し

★1 「長押し」だけに割り当てできる項目です。

★2 「サブチャンネルPTT」(5)(P.4-14)を使用している場合、[サイド1]、[サイド2]に割り当てた機能は使用できません。

4 各種機能の設定

■ 設定項目について(つづき)

操作については、4-4ページをご覧ください。

33 スキャン機能 (初期設定値：プライベート)

スキャンタイプを設定します。

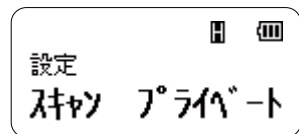
- プライベート : プライベートチャンネルスキャンを有効にする
※スキャンを開始したときのチャンネルと、プライベートチャンネルをスキャンします。
- メモリーCH : メモリーチャンネルスキャンを有効にする
※スキャンを開始したときのチャンネルと、「通話チャンネル毎のスキャン」(34)で設定したメモリーチャンネルをスキャンします。

※「サイドキーの割り当て」(32)(P.4-10)で、[サイド1]の「短押」か「長押」、または[サイド2]の「短押」か「長押」のいずれかに「スキャン」を設定したとき、表示されます。

※「サブチャンネルPTT」(33)(P.4-14)が「OFF」以外に設定したときは、スキャン機能が無効になり、スキャン関連項目(33～33)の表示もされません。

※「プライベート」選択時、プライベートチャンネル番号と同じ通話チャンネル番号で待ち受けしているときは、スキャンしません。

※「メモリーCH」選択時、設定したチャンネルが1件だけの場合、その通話チャンネル番号と同じ通話チャンネル番号で待ち受けしているときは、スキャンしません。



34 通話チャンネル毎のスキャン設定 (初期設定値：スキャン対象外)

メモリーチャンネルスキャンの対象にする通話チャンネルを設定します。

★の選択肢は、「上空用チャンネル」(44)(P.4-13)を「ON」に設定したとき、表示されます。

- 設定範囲：01～14、呼出、16～82、S1～S15*

※「スキャン機能」(33)を「メモリーCH」に設定したとき、表示されます。

※チャンネル選択後、[サイド2]を押すと、メモリーチャンネルスキャンの対象チャンネルに指定/解除が切り替わります。

※メモリーチャンネルスキャンの対象に指定すると、表示部に「MC」が点灯します。



35 スキャン停止時間 (初期設定値：10秒)

電波を受信中、プライベートチャンネルスキャン、メモリーチャンネルスキャンを停止する時間を設定します。

- 設定範囲：2秒～20秒(2秒刻み)、保持

※電波を受信中に、スキャン停止時間(2秒～20秒)が経過すると、スキャンを再開します。

なお、スキャン停止時間(2秒～20秒)が経過する前に電波が途切れたときは、「スキャン再開時間」(36)の設定にしたがってスキャンを再開します。

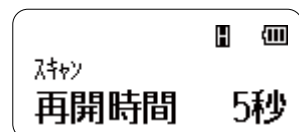
※「保持」を設定したときは、待ち受け状態になるまで、スキャンを停止します。



36 スキャン再開時間 (初期設定値：5秒)

スキャン停止時間が経過する前に電波が途切れたとき、スキャンを再開するまでの時間を設定します。

- 即時 : すぐにスキャンを再開
- 1秒～5秒 : 設定時間後にスキャンを再開
- シナイ : [▼]、[▲]を操作するまで停止



4 各種機能の設定

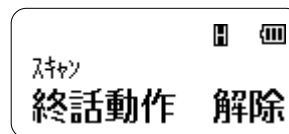
■ 設定項目について(つづき)

操作については、4-4ページをご覧ください。

37 通話後スキャン動作 (初期設定値：解除)

スキャン中、[PTT]を操作したときのスキャン動作を設定します。

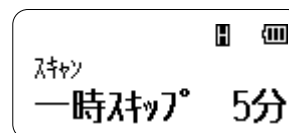
- 解除：スキャンを解除
- 再開：数秒後、スキャンを再開



38 スキャン一時スキップ機能 (初期設定値：5分)

スキャン一時停止時に、そのときのチャンネルを、メモリーチャンネルスキャンの対象から除外する時間を設定します。

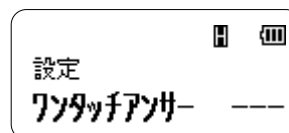
- 設定範囲：5分～15分(5分刻み)、保持
- ※「サイドキーの割り当て」(32)(P.4-10)で、「短押」か「長押」のいずれかに「一時スキップ」を設定したとき、表示されます。
- ※スキャン一時スキップ機能を使用するには、「スキャン機能」(35)(P.4-11)を「メモリーCH」に設定する必要があります。
- ※「保持」を選択したときは、メモリーチャンネルスキャンを解除するまで、スキップ指定した通話チャンネルをスキャンから除外します。



39 ワンタッチアンサー機能 (初期設定値：――)

ワンタッチアンサー機能で送信する音声の録音(最大10秒)、再生、消去をします。

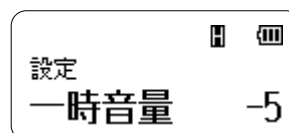
- ――：録音された音声がないとき
 - 再生：[サイド2]を押すと、録音した音声を確認(再生)する
 - 録音：[PTT]を押しているあいだけ、音声を録音する
 - 消去：[PTT]を押すと、録音内容が消去され、「――」が表示される
- ※「サイドキーの割り当て」(32)(P.4-10)で、「短押」か「長押」のいずれかに「ワンタッチアンサー」を設定したとき、表示されます。



40 一時音量切り替え機能 (初期設定値：-5)

周囲の会話を聞きたいとき、または通話相手の音声小さいときなどに、瞬時に音量を上げる、または下げるレベルを設定します。

- 設定範囲：-32～-1、+1～+32
- ※「サイドキーの割り当て」(32)(P.4-10)で、「短押」か「長押」のいずれかに「一時音量」を設定したとき、表示されます。



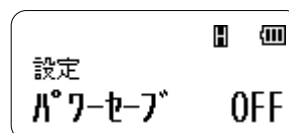
41 パワーセーブ (初期設定値：OFF)

電池の消費を抑えるためのパワーセーブ機能を設定します。

- OFF：使用しない
- ON：使用する

※「ON」に設定したときは、待ち受け状態が10秒を超えると、自動的にパワーセーブ機能が動作します。

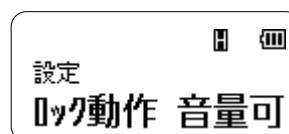
※「個別呼び出し」(17)(P.4-7)を「ON」、または「サブチャンネルPTT」(53)(P.4-14)を「OFF」以外に設定したときは、併用できないため、パワーセーブの設定が自動的に「OFF」になり、表示されません。



42 キーロック時の音量操作 (初期設定値：音量可)

ロック機能動作中の音量調整について設定します。

- 音量可：音量操作を有効にする
- 全キー：音量操作を無効にする



4 各種機能の設定

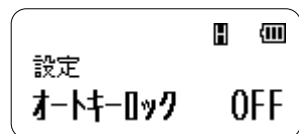
■ 設定項目について(つづき)

操作については、4-4ページをご覧ください。

43 オートキーロック (初期設定値：OFF)

一定時間、スイッチやキーが操作されないとき、選択した時間が経過後にそれらの操作を自動的にロックします。

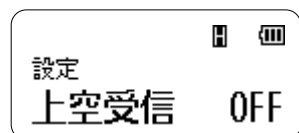
- 選択肢：OFF、15秒、30秒、1分、3分、5分、10分



44 上空用チャンネル (初期設定値：OFF)

上空用チャンネルの使用について設定します。

- OFF：使用しない
- ON：使用する

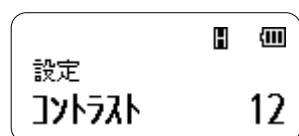


45 LCDコントラスト (初期設定値：12)

表示部のコントラスト(濃淡)を調整します。

- 選択範囲：0(淡)～25(濃)

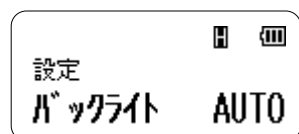
※[サイド2]を押すと、初期設定値に戻ります。



46 バックライト設定 (初期設定値：AUTO)

表示部のバックライト状態を設定します。

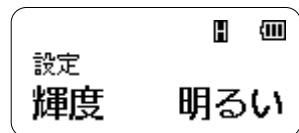
- OFF：常時消灯
- AUTO：キー操作時バックライト点灯
- ON：常時点灯



47 バックライト輝度 (初期設定値：明るい)

バックライトの輝度を設定します。

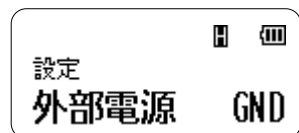
- 選択肢：暗い、明るい



48 外部電源初期値 (初期設定値：GND)

別売品への電源供給を設定します。

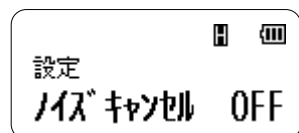
- GND：電源を供給しない
- 5V：電源を入れたあと、5Vの電源を供給する
※別売品を接続していない場合でも、常に5Vの電源を供給します。
- AUTO：別売品を接続すると、自動で電源を供給する



49 ノイズキャンセル (初期設定値：OFF)

送信時の音声からノイズ成分を取り除き、音声品質を向上させる機能です。

- OFF：使用しない
- ON：使用する



50 イヤホン設定 (初期設定値：OFF)

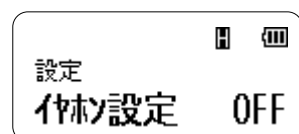
別売品のイヤホン装着時に過入力を防ぐため、外部AF出力レベルを下げる機能を設定します。

- OFF：音声レベルを変更しない
- ON：音声レベルを下げる

※ハンドマイクなどの別売品から出力される音声も、音声レベルが下がります。

無線機のスピーカーから出力される音声は変わりません。

- AUTO：別売品のイヤホンジャックアダプター(AD-52)を接続したとき、自動で音声レベルを下げる



4 各種機能の設定

■ 設定項目について(つづき)

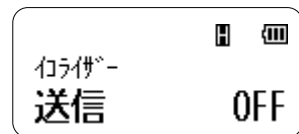
操作については、4-4ページをご覧ください。

51 送信イコライザー (初期設定値：OFF)

送信時の音質を設定します。

送信側で設定した音声を受信側のスピーカーから出力されます。

- 選択肢：OFF、フラット、低音強調、中音強調、高音強調、低高強調

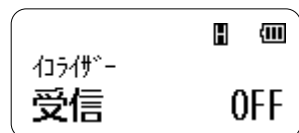


52 受信イコライザー (初期設定値：OFF)

受信時の音質を設定します。

受信音以外に録音時の再生音や音声案内も変更されます。

- 選択肢：OFF、フラット、低音強調、中音強調、高音強調、低高強調



53 サブチャンネルPTT (初期設定値：OFF)

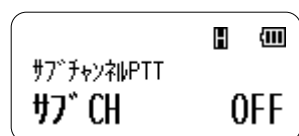
サブチャンネルPTT機能を設定します。

- OFF : サブチャンネルPTT機能を使用しない
- サイド1 : [サイド1]でサブチャンネルPTT機能を使用する
- サイド2 : [サイド2]でサブチャンネルPTT機能を使用する
- サイド1+サイド2 : [サイド1]と[サイド2]でサブチャンネルPTT機能を使用する

※「OFF」以外に設定した場合、[サイド1]、[サイド2]に割り当てられている機能(P.4-10)が無効になります。

※下記項目が「OFF」のとき、項目が表示されます。

「ポケットビープ動作」(1)(P.4-5)、「ポケットビープ」(2)(P.4-5)、「VOX」(14)(P.4-7)、「着信履歴」(22)(P.4-8)、「録音再生機能」(28)(P.4-9)、「パワーセーブ」(41)(P.4-12)



54 サブチャンネル1設定 (初期設定値：CH 01)

サブチャンネル1に割り当てる通話チャンネルを設定します。

- 設定範囲 : CH 01～CH 14、CH 15(呼出CH)、CH 16～CH 82、CH S1～CH S15

※「サブチャンネルPTT」(53)が「サイド1」、または「サイド1+サイド2」の場合：

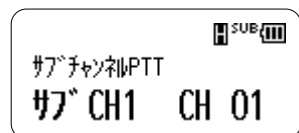
[サイド1]を押しているあいだ、割り当てた通話チャンネルで送信する

※「サブチャンネルPTT」(53)が「サイド2」の場合：

[サイド2]を押しているあいだ、割り当てた通話チャンネルで送信する

※「サブチャンネルPTT」(53)を「OFF」以外に設定したとき、設定項目が表示されません。

※上空チャンネル(CH S1～CH S15)では送信できません。



55 サブチャンネル2設定 (初期設定値：CH 02)

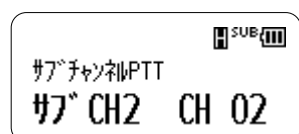
サブチャンネル2に割り当てる通話チャンネルを設定します。

- 設定範囲 : CH 01～CH 14、CH 15(呼出CH)、CH 16～CH 82、CH S1～CH S15

※[サイド2]を押しているあいだ、割り当てた通話チャンネルで送信します。

※「サブチャンネルPTT」(53)を「サイド1+サイド2」に設定したとき、設定項目が表示されません。

※上空チャンネル(CH S1～CH S15)では送信できません。



4 各種機能の設定

■ 設定項目について(つづき)

操作については、4-4ページをご覧ください。

56 メインPTTのチャンネル切り替え (初期設定値：固定)

「サブチャンネル1」(54)(P.4-14)、「サブチャンネル2」(55)(P.4-14)に設定した通話チャンネルで受信したとき、[PTT]を押したときの動作を設定します。

- 固定 : [PTT]を押すと、メインチャンネルで送信する
※サブチャンネルの受信に 응답できません。
- 応答 : [PTT]を押すと、サブチャンネルに設定した通話チャンネルで応答する
※応答中は、サブチャンネルで受信する前に表示されていた通話チャンネルでは送信されません。

※「サブチャンネルPTT」(53)(P.4-14)を「OFF」以外に設定したとき、設定項目が表示されます。

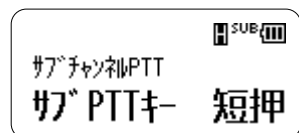


57 サブPTT動作 (初期設定値：短押)

「サブチャンネル1」(54)(P.4-14)、「サブチャンネル2」(55)(P.4-14)に設定した通話チャンネルを無線機の[サイド1]、[サイド2]で送信するときの操作を設定します。

- 短押 : [サイド1]、[サイド2]を押しつづけると、即時送信する
- 長押 : [サイド1]、[サイド2]を押しつづけると、約1秒後に送信する
※サイドキー短押しでサブCHへ移動、長押しでサブCHで送信します。

※「サブチャンネルPTT」(53)(P.4-14)を「OFF」以外に設定したとき、設定項目が表示されます。

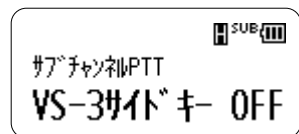


58 VS-3サイドキー操作 IC-DPR7SBT 限定 (初期設定値：OFF)

VS-3(別売品)の[▶▶▶] (早送り：[サイド1]に対応)、[◀◀◀] (巻き戻し：[サイド2]に対応)を押して、サブチャンネルに設定した通話チャンネルで送信するかどうかを設定します。

- OFF : VS-3の[▶▶▶]、[◀◀◀]を押しても、送信しない
- ON : VS-3の[▶▶▶]、[◀◀◀]を押すと、送信する

※「サブチャンネルPTT機能」(53)(P.4-14)を「OFF」以外に設定したとき、設定項目が表示されます。

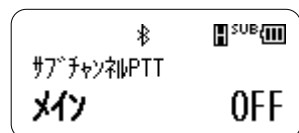


59 ビープ設定 メインチャンネル (初期設定値：OFF)

無線機に現在表示されている通話チャンネルで送受信したときのビープ音を設定します。

- 選択肢 : OFF、ビープ1-1～ビープ1-3、ビープ2-1～ビープ2-9、ビープ3-1～ビープ3-3

※「サブチャンネルPTT」(53)(P.4-14)を「OFF」以外に設定したとき、設定項目が表示されます。

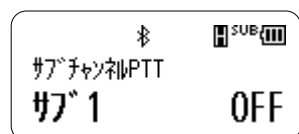


60 ビープ設定 サブチャンネル1 (初期設定値：OFF)

「サブチャンネル1」(54)(P.4-14)に設定した通話チャンネルで送受信したときのビープ音を設定します。

- 選択肢 : OFF、ビープ1-1～ビープ1-3、ビープ2-1～ビープ2-9、ビープ3-1～ビープ3-3

※「サブチャンネルPTT」(53)(P.4-14)を「OFF」以外に設定したとき、設定項目が表示されます。

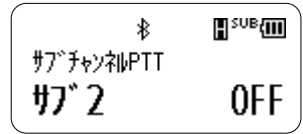


4 各種機能の設定

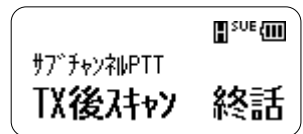
■ 設定項目について(つづき)

操作については、4-4ページをご覧ください。

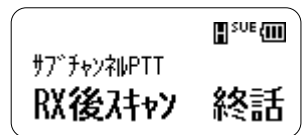
- 61 **ビープ設定 サブチャンネル2** (初期設定値：OFF)
「サブチャンネル2」(53)(P.4-14)に設定した通話チャンネルで送受信したときのビープ音を設定します。
- 選択肢 : OFF、ビープ1-1～ビープ1-3、ビープ2-1～ビープ2-9、
ビープ3-1～ビープ3-3
- ※「サブチャンネルPTT」(53)(P.4-14)を「サイド1+サイド2」に設定したとき、設定項目が表示されます。



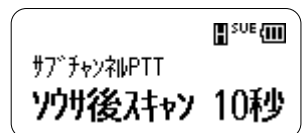
- 62 **送信後スキャン再開時間** (初期設定値：終話)
送信後、サブチャンネルのスキャンを再開するまでの時間を設定します。
- 終話 : 送信後、約5秒が経過してから、スキャンを再開する
 - 即時 : 送信後、すぐにスキャンを再開する
 - 1～5秒(1秒刻み)、
10～20秒(5秒刻み) : 送信後、設定した時間が経過してから、スキャンを再開する
- ※「サブチャンネルPTT」(53)(P.4-14)を「OFF」以外に設定したとき、設定項目が表示されます。



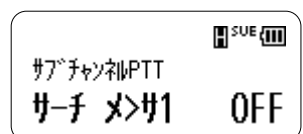
- 63 **受信後スキャン再開時間** (初期設定値：終話)
信号がなくなってから、サブチャンネルのスキャンを再開するまでの時間を設定します。
- 終話 : 信号がなくなって、約5秒が経過してから、スキャンを再開する
 - 即時 : 信号がなくなったら、すぐにスキャンを再開する
 - 1～5秒(1秒刻み)、
10～20秒(5秒刻み) : 信号がなくなって、設定した時間が経過してから、スキャンを再開する
- ※「サブチャンネルPTT」(53)(P.4-14)を「OFF」以外に設定したとき、設定項目が表示されます。



- 64 **操作後スキャン再開時間** (初期設定値：10秒)
チャンネル切り替えなどの操作後、サブチャンネルのスキャンを再開するまでの時間を設定します。
- 選択肢 : 1秒～5秒、10秒、20秒、30秒
- ※「サブチャンネルPTT」(53)(P.4-14)を「OFF」以外に設定したとき、設定項目が表示されます。



- 65 **サーチタイマー設定 メイン⇒サブ1** (初期設定値：OFF)
メインチャンネルを受信中、「サブチャンネル1」(64)(P.4-14)に設定した通話チャンネルの監視を開始するまでの時間を設定します。
- 選択肢 : OFF、2秒、10秒、30秒
- ※「OFF」に設定したときは、他のチャンネルを監視しないため、優先度が高いチャンネルとして選択できません
- ※「サブチャンネルPTT」(53)(P.4-14)を「OFF」以外に設定したとき、設定項目が表示されます。



4 各種機能の設定

■ 設定項目について(つづき)

操作については、4-4ページをご覧ください。

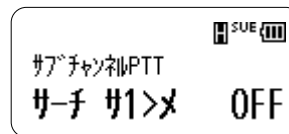
66 サーチタイマー設定 サブ1⇒メイン (初期設定値：OFF)

「サブチャンネル1」(54)(P.4-14)に設定した通話チャンネルを受信中、メインチャンネルの監視を開始するまでの時間を設定します。

- 選択肢 : OFF、2秒、10秒、30秒

※「OFF」に設定したときは、他のチャンネルを監視しないため、優先度が高いチャンネルとして選択できます

※「サブチャンネルPTT」(53)(P.4-14)を「OFF」以外に設定したとき、設定項目が表示されます。



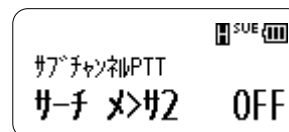
67 サーチタイマー設定 メイン⇒サブ2 (初期設定値：OFF)

メインチャンネルを受信中、「サブチャンネル2」(55)(P.4-14)に設定した通話チャンネルの監視を開始するまでの時間を設定します。

- 選択肢 : OFF、2秒、10秒、30秒

※「OFF」に設定したときは、他のチャンネルを監視しないため、優先度が高いチャンネルとして選択できます

※「サブチャンネルPTT」(53)(P.4-14)を「サイド1+サイド2」に設定したとき、設定項目が表示されます。



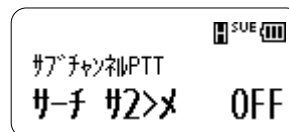
68 サーチタイマー設定 サブ2⇒メイン (初期設定値：OFF)

「サブチャンネル2」(55)(P.4-14)に設定した通話チャンネルを受信中、メインチャンネルの監視を開始するまでの時間を設定します。

- 選択肢 : OFF、2秒、10秒、30秒

※「OFF」に設定したときは、他のチャンネルを監視しないため、優先度が高いチャンネルとして選択できます

※「サブチャンネルPTT」(53)(P.4-14)を「サイド1+サイド2」に設定したとき、設定項目が表示されます。



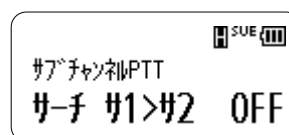
69 サーチタイマー設定 サブ1⇒サブ2 (初期設定値：OFF)

「サブチャンネル1」(54)(P.4-14)に設定した通話チャンネルを受信中、「サブチャンネル2」(55)(P.4-14)に設定した通話チャンネルの監視を開始するまでの時間を設定します。

- 選択肢 : OFF、2秒、10秒、30秒

※「OFF」に設定したときは、他のチャンネルを監視しないため、優先度が高いチャンネルとして選択できます

※「サブチャンネルPTT」(53)(P.4-14)を「サイド1+サイド2」に設定したとき、設定項目が表示されます。



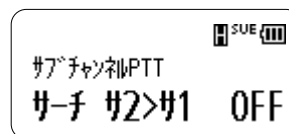
70 サーチタイマー設定 サブ2⇒サブ1 (初期設定値：OFF)

「サブチャンネル2」(55)(P.4-14)に設定した通話チャンネルを受信中、「サブチャンネル1」(54)(P.4-14)に設定した通話チャンネルの監視を開始するまでの時間を設定します。

- 選択肢 : OFF、2秒、10秒、30秒

※「OFF」に設定したときは、他のチャンネルを監視しないため、優先度が高いチャンネルとして選択できます

※「サブチャンネルPTT」(53)(P.4-14)を「サイド1+サイド2」に設定したとき、設定項目が表示されます。



4 各種機能の設定

■ 設定項目について(つづき)

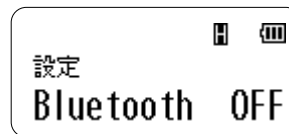
操作については、4-4ページをご覧ください。

⑦① Bluetooth IC-DPR7SBT 限定 (初期設定値：OFF)

Bluetooth機能を設定します。

- OFF：使用しない
- ON：使用する

※Bluetooth接続を切断するときは、「OFF」に設定してください。



⑦② Bluetooth 検索(ヘッドセット) IC-DPR7SBT 限定 (初期設定値：――)

周囲のBluetooth機能対応ヘッドセットを検索します。

- ―――：[PTT]を押すと、検索を開始

※周囲にBluetooth機能対応ヘッドセットがないときは、「――」が表示されます。

※「Bluetooth」(⑦①)を「ON」に設定したとき、設定項目が表示されます。



⑦③ Bluetooth 検索(データ端末) IC-DPR7SBT 限定 (初期設定値：――)

周囲のBluetooth機能対応データ端末を検索します。

- ―――：[PTT]を押すと、検索を開始

※周囲にBluetooth機能対応データ端末がないときは、「――」が表示されます。

※「Bluetooth」(⑦①)を「ON」に設定したとき、設定項目が表示されます。



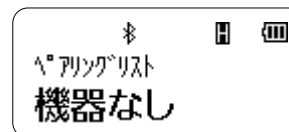
⑦④ Bluetooth 機器一覧 IC-DPR7SBT 限定 (初期設定値：機器なし)

過去にペアリングされたBluetooth機器一覧を表示し、接続します。

表示されている機器を接続するには、[設定]を長く(約1秒)押します。

※過去にペアリングした機器がない場合は、「機器なし」が表示されます。

※「Bluetooth」(⑦①)を「ON」に設定したとき、設定項目が表示されます。



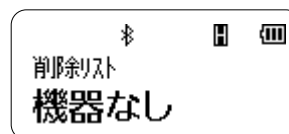
⑦⑤ Bluetooth 登録削除 IC-DPR7SBT 限定 (初期設定値：機器なし)

過去にペアリングされたBluetooth機器一覧を表示し、リストから削除します。

表示されている機器を削除するには、[設定]キーを長く(約1秒)押します。

※削除できる機器がない場合は、「機器なし」が表示されます。

※「Bluetooth」(⑦①)を「ON」に設定したとき、設定項目が表示されます。

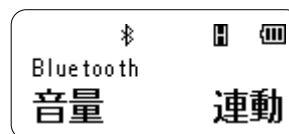


⑦⑥ Bluetooth ボリューム連動 IC-DPR7SBT 限定 (初期設定値：連動)

Bluetooth接続時の音量を設定します。

- 連動：無線機本体の音量と連動する
- 固定：「Bluetooth 音声ボリューム」(⑦⑦)で設定された音量に固定する

※「Bluetooth」(⑦①)を「ON」に設定したとき、設定項目が表示されます。



⑦⑦ Bluetooth 音声ボリューム IC-DPR7SBT 限定 (初期設定値：32)

「Bluetooth ボリューム連動」(⑦⑥)を「固定」に設定しているときに、適用される値を設定します。

- 選択範囲：1～32

※「Bluetooth」(⑦①)を「ON」、かつ「Bluetooth ボリューム連動」(⑦⑥)を「固定」に設定したとき表示されます。



4 各種機能の設定

■ 設定項目について(つづき)

操作については、4-4ページをご覧ください。

78 Bluetooth パワーセーブ IC-DPR7SBT 限定 (初期設定値：OFF)

接続しているBluetooth機器のパワーセーブ機能を設定します。

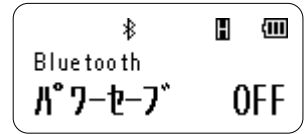
- OFF：使用しない
- ON：使用する

※「ON」に設定したときは、VS-3(別売品)と接続中に2分間、操作、または音声通信がなかった場合、電池の電流消費を抑えるため、VS-3がパワーセーブ状態になります。

パワーセーブ状態でVS-3の[PTT]を押す、または押しつづけたときは、最初の1回はパワーセーブ解除の操作となり送信状態になりません。

送信するには、VS-3の[PTT]の押しなおしが必要です。

※「Bluetooth」(71)(P.4-18)を「ON」に設定したとき、設定項目が表示されます。



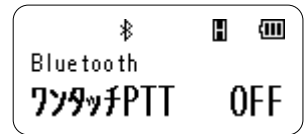
79 Bluetooth ワンタッチPTT IC-DPR7SBT 限定 (初期設定値：OFF)

VS-3の[PTT]を短く押すごとに送信と受信を切り替える機能を設定します。

- OFF：使用しない
- ON：使用する

※「ON」に設定したときは、VS-3の[PTT]を押しつづける必要がなくなります。

※「Bluetooth」(71)(P.4-18)を「ON」に設定したとき、設定項目が表示されます。



80 Bluetooth PTT&マイク切り替え IC-DPR7SBT 限定 (初期設定値：HS+OP)

Bluetooth接続時、無線機、および別売品の外部機器のPTT操作とマイクを制限するときに設定します。

- HS：Bluetooth機器のPTT操作とマイクだけを有効にする
- HS+OP：Bluetooth機器、および外部機器のPTT操作とマイクを有効にする
※外部機器を接続しない場合、無線機のPTT操作とマイクが有効になります。
- MIC:HS：Bluetooth機器、および無線機、または外部機器のPTT操作を有効にし、Bluetooth機器のマイクだけを有効にする
※外部機器を接続しない場合、無線機のPTT操作が有効になります。

※「Bluetooth」(71)(P.4-18)を「ON」に設定したとき、設定項目が表示されます。

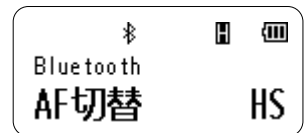


81 Bluetooth AF出力切り替え IC-DPR7SBT 限定 (初期設定値：HS)

Bluetooth接続時、無線機、および別売品の外部機器のスピーカーを制限するときに設定します。

- HS：Bluetooth機器のイヤホンだけを使用する
- HS+OP：Bluetooth機器のイヤホン、および無線機、または外部機器のスピーカーを使用する
※スピーカー、またはイヤホンがある外部機器を接続した場合は、無線機のスピーカーが無効になります。
※AD-52を無線機に接続した状態で、AD-52にイヤホン挿していない場合は、無線機のスピーカーが有効になります。

※「Bluetooth」(71)(P.4-18)を「ON」に設定したとき、設定項目が表示されます。



4 各種機能の設定

■ 設定項目について(つづき)

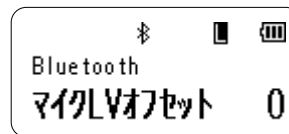
操作については、4-4ページをご覧ください。

82 Bluetooth マイクレベルオフセット IC-DPR7SBT 限定 (初期設定値：0)

Bluetoothマイクロホンの感度を設定します。

- 設定範囲：-13～15

※「Bluetooth」(71)(P.4-18)を「ON」に設定したとき、設定項目が表示されます。

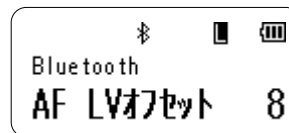


83 Bluetooth AFレベルオフセット IC-DPR7SBT 限定 (初期設定値：8)

Bluetooth機器の音量を設定します。

- 設定範囲：0～12

※「Bluetooth」(71)(P.4-18)を「ON」に設定したとき、設定項目が表示されます。



84 Bluetooth 初期化 IC-DPR7SBT 限定 (初期設定値：NO)

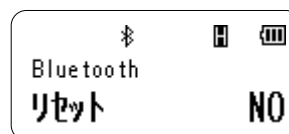
Bluetoothの全設定を初期化します。

- NO：初期化しない
- YES：[PTT]を押すと、初期化する

※初期化したあとは、「Bluetooth」(71)(P.4-18)が「OFF」になります。

※「YES」を選択後、[PTT]を押さない状態で、ほかの設定項目に移動したときは、初期化しないと認識され、「NO」に切り替わります。

※「Bluetooth」(71)(P.4-18)を「ON」に設定したとき、設定項目が表示されます。

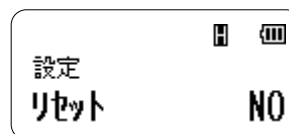


85 全設定初期化 (初期設定値：NO)

すべての設定を工場出荷時の状態に戻す(リセットする)ときの操作です。

- NO：初期化しない
- YES：[PTT]を押すと、初期化する

※「YES」を選択後、[PTT]を押さない状態で、ほかの設定項目に移動したときは、初期化しないと認識され、「NO」に切り替わります。



本製品を便利にお使いいただくため、下記の別売品をご用意しています。

【別売品についてのご注意】

弊社製別売品は、本製品の性能を十分に発揮できるように設計されていますので、必ず弊社指定の別売品をお使いください。

弊社指定以外の別売品とのご使用が原因で生じる無線機の破損、故障あるいは動作や性能については、保証対象外とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

■ 別売品一覧表

弊社ホームページ<https://www.icom.co.jp/>でも、別売品についてご覧いただけます。別売品については、防塵/防水構造になっていませんので、ご注意ください。

★1 本製品に付属のものと同じです。

★2 IP67の防塵/防水性能があります。

★3 IP54の防塵/防水性能があります。

上記、防塵/防水性能は、「IP表記について」(P.iv)をご覧ください。

※別売品を組み合わせで使用したときは、防塵/防水性能の低いものに制限されます。

充 電 す る

BC-225	: インテリジェントチャージャー (BC-123S(L型)付属)
BC-226*1	: 急速充電器(最大6台まで連結可能)
BC-227	: 急速充電器
BC-228	: ACアダプター (BC-226連結時の電源)
BC-123S (ストレート型)*1	: ACアダプター (BC-226単体使用時の電源)
BC-123S(L型)	: ACアダプター (BC-225/BC-227用の電源)
BC-214	: 6連急速充電器 (BC-157S付属、AD-132N 組み込み済み) ※電源には、付属品のBC-157S、または別売品のOPC-656が必要です。
BC-157S	: ACアダプター(BC-214用の電源)
OPC-656	: DC電源ケーブル(BC-214用)
AD-132N	: 急速充電アダプター(BC-214用)
CP-23L	: シガレットライターケーブル (BC-227用)

バ ッ テ リ ー 関 係

BP-290*1*2	: Li-ionバッテリーパック (Min: 1910mAh、Typ: 2010mAh)
BP-294*2	: Li-ionバッテリーパック (Min: 3050mAh、Typ: 3150mAh)
BP-291*3	: アルカリ乾電池ケース (単3形アルカリ乾電池×5本) ※5-9ページと併せてご覧ください。

外 部 電 源

AD-136	: 電源供給器
--------	---------

腰 に か け る

MBB-3*1	: ベルトクリップ(BP-290/BP-291/ BP-294用)
MBB-4	: ベルトクリップ (BP-290/BP-291/BP-294用、ステン レス製)

肩 に か け る

MB-57L	: ショルダーストラップ ※MBB-4、MBC-1のいずれかと組み合わせ てお使いになれます。
MB-61	: ショルダーストラップ ※MBB-4、MBC-1のいずれかと組み合わせ てお使いになれます。
MBC-1	: ショルダーストラップ金具 ※同梱の止め具で、バッテリーパックのベルト クリップ取り付け部に固定して使用します。

無線機を保護する

LC-187	: ハードケース(BP-290用) ※装着した状態でスイッチ操作と充電 (BC-226/BC-227を使用時)ができます。
LC-188	: ハードケース(BP-290用)
LC-190	: ハードケース(BP-294用) ※装着した状態でスイッチ操作と充電 (BC-226/BC-227を使用時)ができ ます。

変換アダプター/アンテナ関係

AD-52	: イヤホンジャックアダプター (ジャック: φ3.5mm) ※5-6ページと併せてご覧ください。
FA-S05U*2	: ショートアンテナ(約5cm)
FA-S06U*1*2	: ミドルアンテナ(約10cm)
FA-S07U*2	: ロングアンテナ(約22cm)

5 別売品について

■ 別売品一覧表(つづき)

- ★2 IP67の防塵/防水性能があります。
- ★3 IP54の防塵/防水性能があります。
- ★4 IPX7の防水性能があります。
- ★5 IPX4の防水性能があります。
- ★6 使用するには、本製品の設定モードから外部電源制御の設定(P.4-13)が必要です。

上記、防塵/防水性能は、「IP表記について」(P.iv)をご覧ください。

※別売品を組み合わせで使用したときは、防塵/防水性能の低いものに制限されます。

スピーカーマイクロホン関係

- HM-159FS*4** : 防水形スピーカーマイクロホン
※SP-31と組み合わせてもお使いになれます。
※イヤホン装着時も、スピーカーから音が出ます。
- HM-159SJ*4*6** : 防水形スピーカーマイクロホン
※SP-31と組み合わせてもお使いになれます。
- HM-172*2*6** : 防水形スピーカーマイクロホン
- HM-183SJ*4** : 防水形スピーカーマイクロホン
- HM-186SJ** : 小型スピーカーマイクロホン
※SP-16、SP-16B、SP-16BW、SP-29、SP-29Lのいずれかと組み合わせてもお使いになれます。

スピーカー関係

- EH-11** : イヤーパッド型スピーカー
(プラグ: ϕ 2.5mm)
※5-7ページと併せてご覧ください。
- EH-12** : ヘルメット取り付け型スピーカー
(プラグ: ϕ 2.5mm)
※ヘルメットのストラップに取り付けて使用します。
※5-7ページと併せてご覧ください。

マイクロホン/ヘッドセット関係

- HM-104** : 単一指向性タイピン型マイクロホン
※HM-104A
(無指向性タイピン型マイクロホン)
※EH-14、EH-15のいずれか、およびOPC-636、OPC-637、OPC-2277のいずれかでお使いになれます。
- HM-109** : 接話タイピン型マイクロホン
※5-7ページと併せてご覧ください。

マイクロホン/ヘッドセット関係

- HM-163** : 接話タイピン型マイクロホン
※HM-163A(金属クリップ仕様)
※5-7ページと併せてご覧ください。
※コネクター部はIPX7相当の防水性能がありますが、マイクロホン部は防水構造ではありません。
- HM-238*2*6** : サブチャンネルPTT機能対応タイピン型マイクロホン
※5-8ページと併せてご覧ください。
- HS-86** : ヘルメット取り付け型ヘッドセット
※5-7ページと併せてご覧ください。
- HS-88A** : ヘッドセット
※OPC-636、OPC-637、OPC-2277のいずれかでお使いになれます。
- HS-92** : ヘルメット取り付け型ヘッドセット(ワニ口で固定)
※5-7ページと併せてご覧ください。
- HS-94** : イヤーフック型ヘッドセット
※VS-2SJと組み合わせてもお使いになれます。
- HS-95** : ネックアーム型ヘッドセット
※VS-2SJと組み合わせてもお使いになれます。
- HS-97** : 咽喉マイクロホン
※VS-2SJと組み合わせてもお使いになれます。
- HS-99** : 耳かけ式イヤホンマイクロホン
※VS-2SJと組み合わせてもお使いになれます。
- OPC-636** : マイクスイッチ内蔵型接続ケーブル(ロック式)
※5-7ページと併せてご覧ください。
- OPC-637** : マイクスイッチ内蔵型接続ケーブル(ノンロック式)
※5-7ページと併せてご覧ください。
- OPC-2277*3*6** : 通話スイッチ内蔵型接続ケーブル(電子ロック式)
※HS-86、HS-88A、HS-92、HM-104、HM-104Aのいずれかでお使いになれます。
- VS-2SJ*5*6** : VOXユニット
※HS-94、HS-95、HS-97、またはHS-99と組み合わせてもお使いになれます。
- VS-3** : Bluetoothヘッドセット
※IC-DPR7SBTでお使いになれます。

5 別売品について

■ 別売品一覧表(つづき)

イヤホン関係	
EH-13	: 耳かけ型イヤホン(プラグ: ϕ 2.5mm) ※ケーブル長: 約50cm ※HS-86、HS-92のいずれかでお使いになれます。
EH-14	: オープンエア型イヤホン (プラグ: ϕ 2.5mm) ※HM-104、HM-104A、HM-109、HM-163、HM-163Aのいずれかでお使いになれます。
EH-15	: イヤホン(プラグ: ϕ 2.5mm) ※EH-15B(黒色) ※HM-104、HM-104A、HM-109、HM-163、HM-163A、HM-238のいずれかでお使いになれます。
SP-16	: 耳かけ型イヤホン(プラグ: ϕ 3.5mm) ※ケーブル長: 約50cm ※SP-16B(黒色)/SP-16BW(黒色/ロングケーブル: 約1m) ※AD-52と組み合わせてお使いになれます。
SP-28	: 耳かけ型イヤホン(プラグ: ϕ 2.5mm) ※ケーブル長: 約45cm ※HM-104、HM-104A、HM-109、HM-163、HM-163A、HM-238のいずれかでお使いになれます。
SP-29	: 耳かけ型イヤホン(プラグ: ϕ 3.5mm) ※ケーブル長: 約97cm ※SP-29L(L型プラグ: ϕ 3.5mm) ※AD-52と組み合わせてお使いになれます。
SP-31	: 耳かけ型イヤホン (HM-159FS/HM-159SJ専用)
SP-32	: チューブ式イヤホンアダプター ※EH-15、EH-15B、SP-16、SP-16B、SP-16BWのいずれかでお使いになれます。

そ の 他

RS-BC225 : BC-225用リーダーソフトウェア

■ バッテリーパック使用時の使用時間と充電時間

名 称 定 格 項 目		BP-290	
電池の種類		リチウムイオン	
電池の容量		1910mAh min. /2010mAh typ.	
出力電圧		7.2V	
寸 法 (幅×高さ×奥行)		51.7×85.4×17.7 【条件】突起物は含まず/【単位】mm	
使用時間	パワーセーブ	ON	OFF
	送信出力	1W	約20時間
		5W	約13時間
【条件】送信5、受信5、待ち受け90の割合で、繰り返し運用			
充電時間 (充電器名)	BC-225	約2.5時間	
	BC-226	約2.7時間	
	BC-227	約2.4時間	
	BC-214	約2.8時間	

名 称 定 格 項 目		BP-294	
電池の種類		リチウムイオン	
電池の容量		3050mAh min. /3150mAh typ.	
出力電圧		7.2V	
寸 法 (幅×高さ×奥行)		51.8×87.7×24.9 【条件】突起物は含まず/【単位】mm	
使用時間	パワーセーブ	ON	OFF
	送信出力	1W	約35時間
		5W	約22時間
【条件】送信5、受信5、待ち受け90の割合で、繰り返し運用			
充電時間 (充電器名)	BC-225	約4時間	
	BC-226	約4.3時間	
	BC-227	約4.5時間	
	BC-214	約5時間	

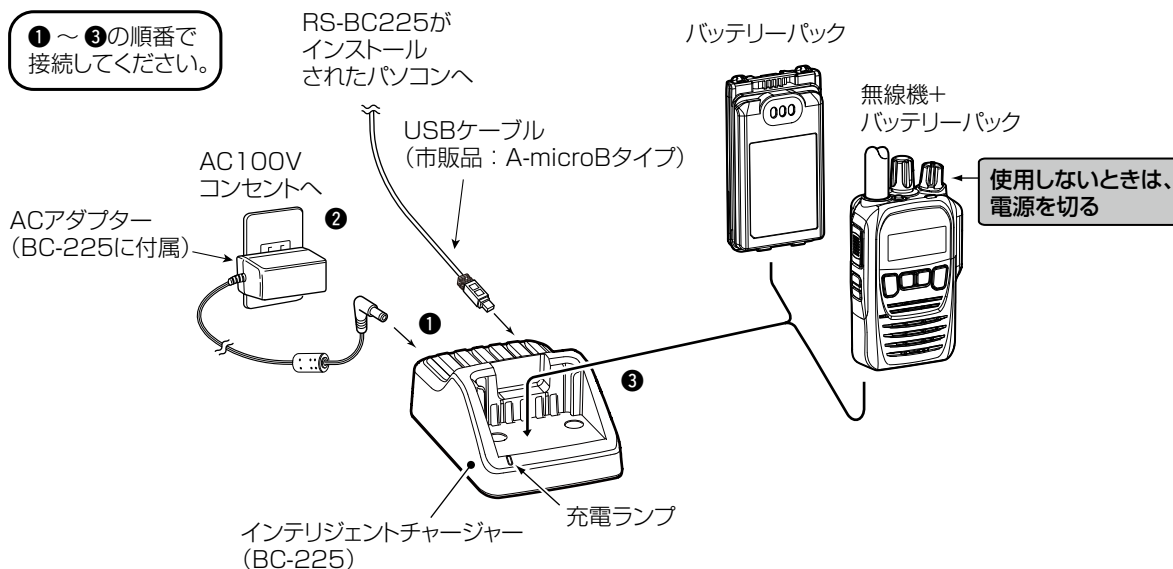
※出荷時、パワーセーブ機能は、「OFF」に設定されています。

パワーセーブ機能の設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

5 別売品について

■ BC-225(インテリジェントチャージャー)：充電のしかた

RS-BC225(別売品：BC-225用リーダーソフトウェア)で充電状態を確認しながら、バッテリーパック単体、または無線機に装着した状態で充電できます。



⚠ 危険

弊社指定 (BP-290/BP-294) 以外のバッテリーパックは、絶対に充電しないでください。

◎電源を入れたまま充電すると、充電モード(P.3-14)に移行するため、充電が完了するまでの時間が長くなります。

使用しないときは、電源を切って充電してください。

◎充電が完了した状態で放置していても、バッテリーパックの電圧が低下すると、自動的に再充電を開始します。

※使用温度範囲外の環境や劣化が進んだバッテリーパックを充電した場合、充電完了後すぐに充電を再開する場合がありますが、充電器の故障ではありません。

※充電後や充電しないときは、ACコンセントからACアダプターを抜いてください。

◇充電ランプについて

点灯色	充電状態
橙	充電中
青	充電完了
緑	充電完了(エコモード*)
赤	充電エラー ※上図の接続を確認し、充電しなおしてください。

★エコモードでは、バッテリーの劣化を遅らせるため、満充電を100%とした場合の約80%～90%に充電されます。

エコモードのON/OFFは、別売品のRS-BC225で設定できます。

動作環境など詳しくは、RS-BC225のインストールガイドをご覧ください。

5 別売品について

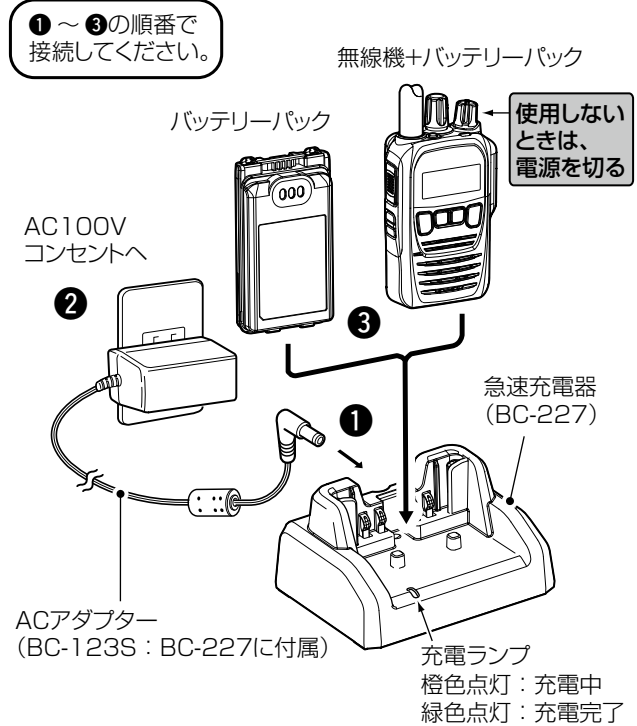
■ BC-227(急速充電器)：充電のしかた

バッテリーパックを単体、または無線機に装着した状態で充電できます。

△ 危険

弊社指定 (BP-290/BP-294) 以外のバッテリーパックは、絶対に充電しないでください。

- ◎ 充電中、充電ランプは橙色に点灯します。
充電が完了すると緑色に点灯します。
※充電エラー時は、充電ランプが橙色と緑色に交互点灯します。
右図の接続を確認し、充電しなおしてください。
- ◎ 電源を入れたまま充電すると、充電モード(P.3-14)に移行するため、充電が完了するまでの時間が長くなります。
受信する必要がないときは、電源を切って充電してください。
- ◎ 充電が完了した状態で放置していても、バッテリーパックの電圧が低下すると、自動的に再充電を開始します。
※使用温度範囲外の環境や劣化が進んだバッテリーパックを充電した場合、充電完了後すぐに充電を再開する場合がありますが、充電器の故障ではありません。
※充電後や充電しないときは、ACコンセントからACアダプターを抜いてください。



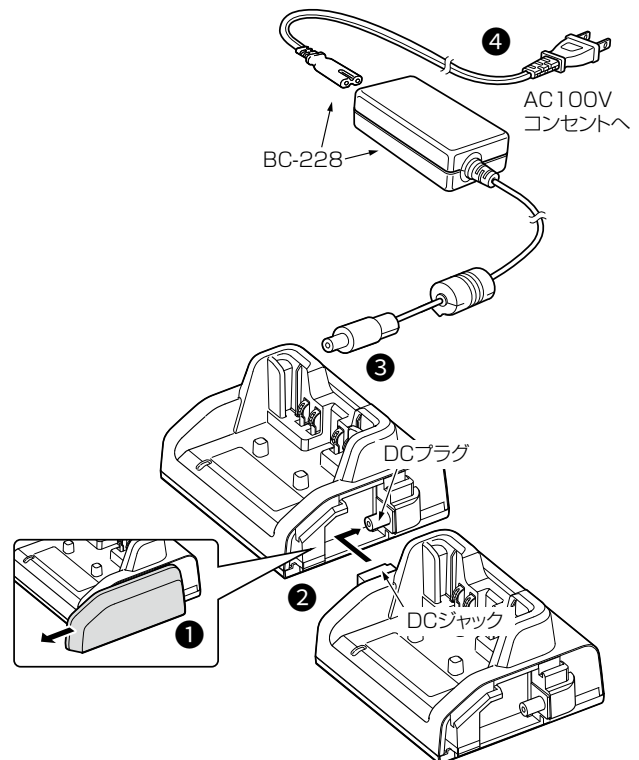
■ BC-226の連結充電について

充電器を最大6台まで連結して、同時に充電できます。BC-226を連結して充電する際は、BC-228(別売品：BC-226連結充電用ACアダプター)が必要です。

1. 充電器右側面のカバーを取りはずします。(①)
2. 右側面にあるDCプラグと、もう1台の充電器(左側面)にあるDCジャックを「カチッ」と音がするまで差し込みます。(②)
3. 左側面にあるDCジャックにACアダプターを差し込み、ACコンセントへ接続します。(③、④)

△ 警告

BC-226 を 7 台以上連結して充電しないでください。
火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。



5 別売品について

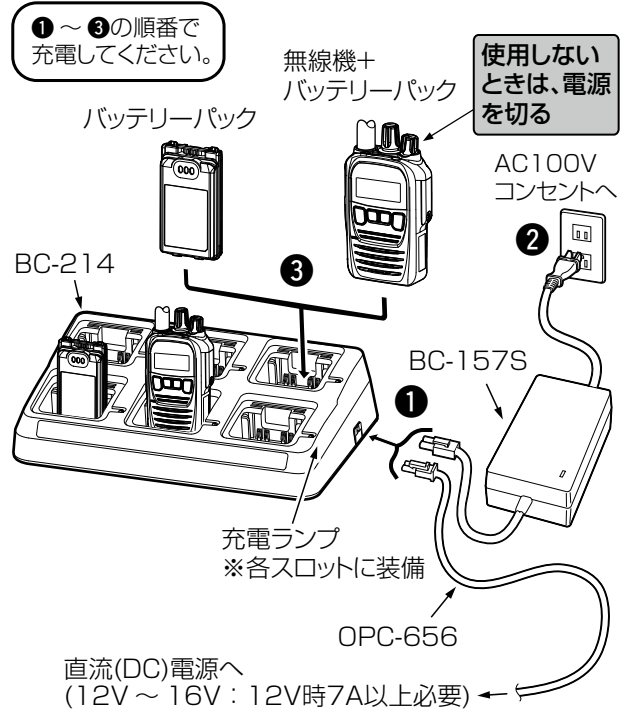
■ BC-214(6連急速充電器)：充電のしかた

バッテリーパックを単体、または無線機に装着した状態で充電できます。

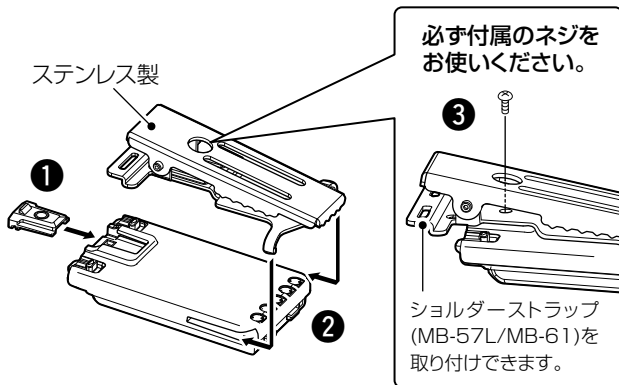
△ 危険

弊社指定 (BP-290/BP-294) 以外のバッテリーパックは、絶対に充電しないでください。

- ◎ 充電中、充電ランプは橙色に点灯します。
充電が完了すると緑色に点灯します。
※充電エラー時は、充電ランプが橙色と緑色に点滅します。
右図の接続を確認し、充電しなおしてください。
- ◎ 電源を入れたまま充電すると、充電モード(P.3-14)に移行するため、充電が完了するまでの時間が長くなります。
使用しないときは、電源を切って充電してください。
- ◎ 充電が完了した状態で放置していても、バッテリーパックの電圧が低下すると、自動的に再充電を開始します。
※使用温度範囲外の環境や劣化が進んだバッテリーパックを充電した場合、充電完了後すぐに充電を再開する場合がありますが、充電器の故障ではありません。
※充電後や充電しないときは、ACコンセントからACアダプターを抜いてください。



■ MBB-4(ベルトクリップ)



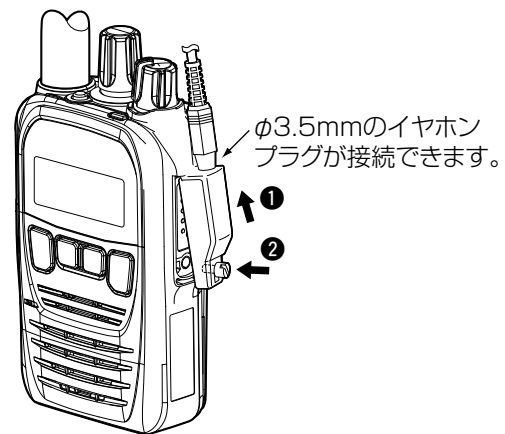
△ 注意

腰などに固定するときは、指を挟まないようご注意ください。

■ AD-52(イヤホンジャックアダプター)

SP-16、SP-16B、SP-16BW、SP-29、SP-29Lのいずれかでお使いになれます。

※装着しても、イヤホンプラグが接続されるまでは、無線機内蔵のスピーカーが機能します。

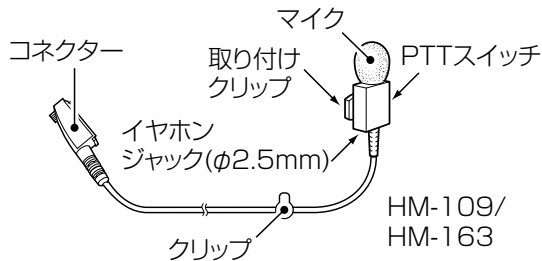


5 別売品について

■ HM-109/HM-163(接話タイピン型マイクロホン)

EH-14、EH-15、EH-15B、SP-28のいずれかでお使いになれます。

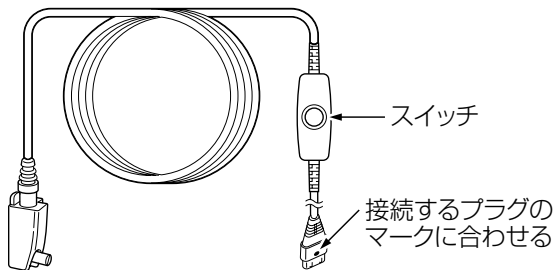
※HM-163A(HM-163の金属クリップ仕様)



■ OPC-636/OPC-637

(マイクスイッチ内蔵型接続ケーブル)


HS-86、HS-88A、HS-92、HM-104、HM-104Aのいずれかでお使いになれます。




〈OPC-636の場合〉


赤色のスイッチは、ノンロック(未固定)式です。


※白色のスイッチが出ている(出)とき使用できます。

●  : 押しているあいだけ通話状態になる

●  : はなすと待ち受け状態になる


白色のスイッチは、ロック(固定)式です。


●  : 押し込む(入)と通話状態になる

●  : 出ている(出)と待ち受け状態になる

〈OPC-637の場合〉

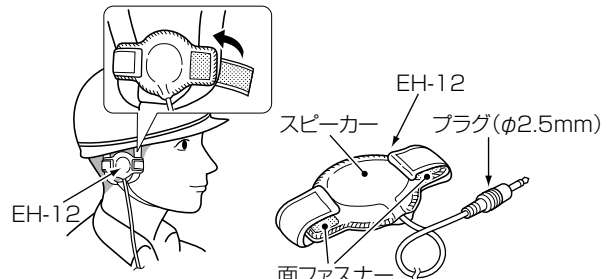
黒色のスイッチは、ノンロック(未固定)式です。

●  : 押しているあいだけ通話状態になる

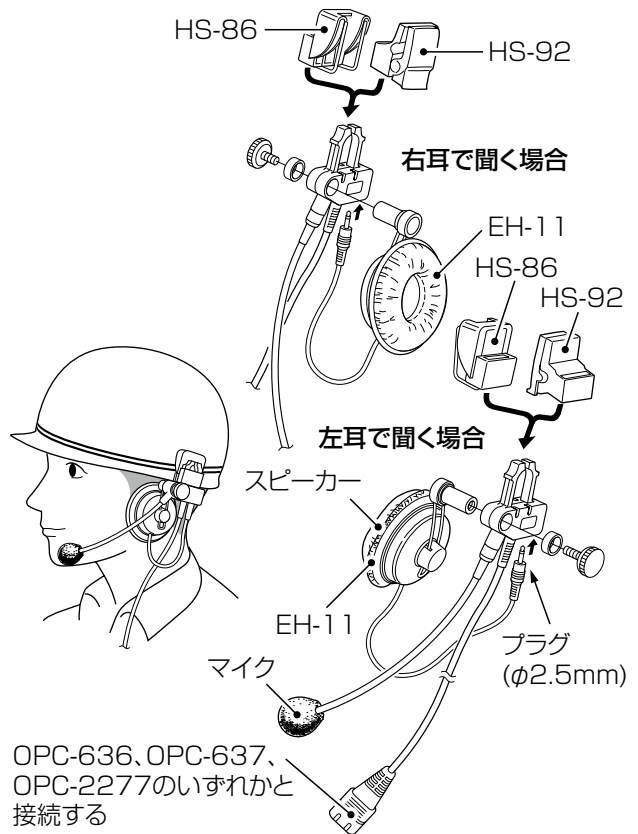
●  : はなすと待ち受け状態になる

■ EH-12(ヘルメット取り付け型スピーカー)

HS-86、HS-92のいずれかでお使いになれます。



■ HS-86/HS-92(ヘルメット取り付け型ヘッドセット)とEH-11(イヤープッド型スピーカー)の組み立て

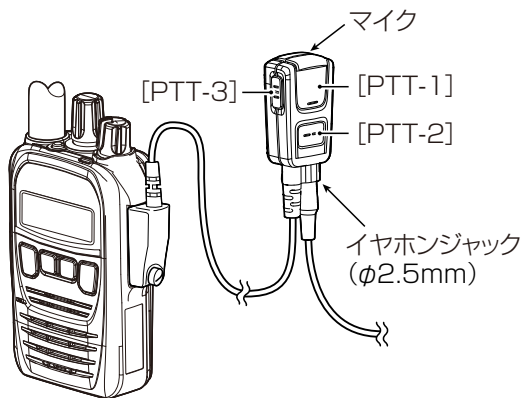


OPC-636、OPC-637、OPC-2277のいずれかと接続する

5 別売品について

■ HM-238(サブチャンネルPTT機能対応タイピン型マイクロホン)

EH-15、EH-15B、SP-28のいずれかでお使いになります。



ご注意

- ◎HM-238を接続するときは、必ず無線機の設定モードから、「外部電源設定」(P.4-13)を「AUTO」、または「5V」に設定してください。
※「GND」に設定されているときは、正しく動作しません。
- ◎HM-238を無線機に装着すると、無線機本体のスピーカーから音が出なくなります。
必ずHM-238にイヤホン(EH-15/EH-15B/SP-28)を接続して、使用してください。

サブチャンネルPTT機能の設定によって、[PTT-1]、[PTT-2]、[PTT-3]を押したときの動作が異なります。
※サブチャンネルPTT機能については3-4ページ～3-8ページをご覧ください。

【サブCH：「OFF」の場合】

- [PTT-1]/[PTT-2]/[PTT-3]
:無線機に表示されている通話チャンネルで送信する

【サブCH：「サイド1」の場合】

- [PTT-1] :無線機に表示されている通話チャンネルで送信する
- [PTT-2] :サブチャンネル1で送信する
- [PTT-3] :送信しない
※エラービープ(ブツ)が鳴ります。

【サブCH：「サイド2」の場合】

- [PTT-1] :無線機に表示されている通話チャンネルで送信する
- [PTT-2] :送信しない
※エラービープ(ブツ)が鳴ります。
- [PTT-3] :サブチャンネル1で送信する

【サブCH：「サイド1+2」の場合】

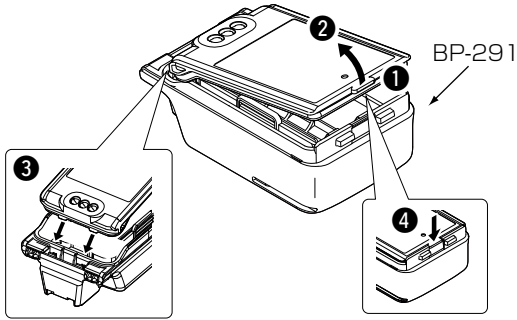
- [PTT-1] :無線機に表示されている通話チャンネルで送信する
- [PTT-2] :サブチャンネル1で送信する
- [PTT-3] :サブチャンネル2で送信する

5 別売品について

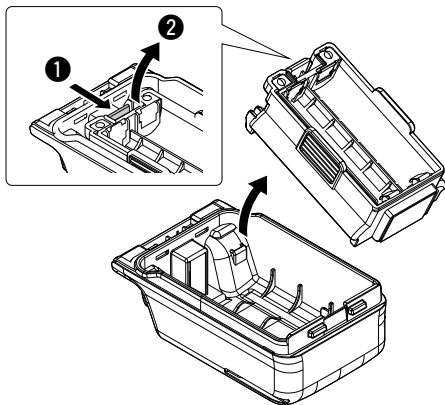
■ BP-291 (アルカリ乾電池ケース)

◇アルカリ乾電池の入れかた

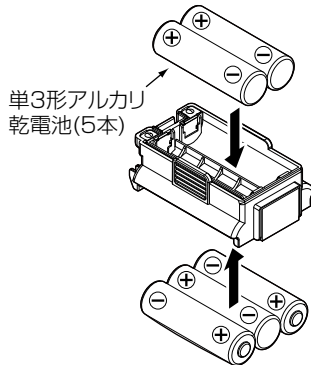
1. 乾電池ケースのフタを開けるときは、指を①の部分に掛けて、②の方向に引き上げます。
フタを閉じるときは、③→④の順番で閉じてください。
そのとき、ケース外部に防水用パッキンがはみ出さないように注意してください。



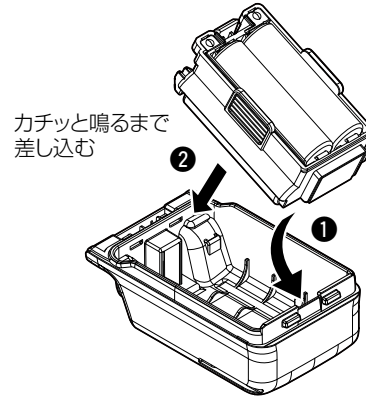
2. ①の部分指で押しなが、②の方向に引き上げて取り出します。



3. 単3形アルカリ乾電池を5本入れます。
※+(プラス側)と-(マイナス側)を間違えないように入れてください。



4. ①の方向から先に入れ、「カチッ」と鳴るまで②の方向へ差し込みます。



◇アルカリ乾電池ケースを正しくご使用いただくために

△ 危険

アルカリ乾電池ケース(BP-291)は、単3形アルカリ乾電池専用です。
マンガン乾電池や単3形の充電式電池は使用しないでください。
破裂、発火や火災、発熱、液もれ、感電、やけどの原因になります。

△ 注意

アルカリ乾電池ケースを使用しないときは、アルカリ乾電池ケースからアルカリ乾電池を取りはずして保管してください。

- ◎アルカリ電池ケースの電圧が本製品の動作範囲以下になると電源が切れます。
- ◎アルカリ電池ケースの電池端子部にゴミやホコリが付着すると正常に使用できないことがありますので、乾いたやわらかい布などで、電池端子部を定期的にご確認ください。
- ◎アルカリ乾電池に記載されている注意事項も併せてお読みいただき、正しくご使用ください。
- ◎使用時間の目安は、下の表をご覧ください。
※使用条件やアルカリ乾電池の種類(製造元など)により、使用時間が大きく異なることがあります。
また、アルカリ乾電池の特性により、低温では使用時間が短くなります。

使用時間	パワーセーブ		ON	OFF
	送信出力	1W	約7時間	約5.5時間
	5W	約1時間	約40分	
	【条件】送信5、受信5、待ち受け受信90の割合で繰り返し運用			

■ 無線機本体

送信周波数範囲	351.03125～351.10000MHz 351.20000～351.63125MHz
受信周波数範囲	351.03125～351.63125MHz
チャンネル数	82チャンネル(送受信)+15チャンネル ^{★1} (受信)
電波型式	F1E/F1D/F1F/F1C
変調方式	4値FSK
使用温度範囲	-20～+60℃
電源電圧	DC7.4V±10%
消費電流	2.0A以下(送信時：5W) 1.0A以下(送信時：1W) 600mA以下 ^{★2} (Bluetooth OFFで受信時) 350mA以下 ^{★3} (Bluetooth OFFで受信時) 630mA以下 ^{★2} (Bluetooth ONで受信時) IC-DPR7SBT 限定 380mA以下 ^{★3} (Bluetooth ONで受信時) IC-DPR7SBT 限定 100mA以下 (Bluetooth OFFで待ち受け時) 130mA以下 (Bluetooth ONで待ち受け時) IC-DPR7SBT 限定
送信出力	5W/1W(偏差：+20%、-50%)
低周波出力	1000mW以上 ^{★2} (8Ω、10%歪時) 500mW以上 ^{★3} (8Ω、10%歪時)
接地方式	マイナス接地
アンテナインピーダンス	50Ω(不平衡)
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン方式
受信感度	-5dBμVemf以下 ^{★4} 0dBμVemf以下 ^{★5}
外形寸法	56(W)×92(H)×29(D)mm(突起物を除く、BP-290装着時)
重量	約243g(IC-DPR7S : アンテナ、BP-290、MBB-3装着時) 約245g(IC-DPR7SBT : アンテナ、BP-290、MBB-3装着時)

★1 上空用チャンネル(S1～S15)

★2 内部スピーカー使用時

★3 外部スピーカー使用時

★4 BER=1×10⁻² スタティック時

★5 BER=3×10⁻² フェージング時

■ BC-226 急速充電器

入力電圧	DC12～16V ※別売品のACアダプター(BC-228)を使用時
使用温度範囲	15～40℃
重量	約120g(1台、BC-228を除く) 約640g(6台連結、BC-228を除く)
寸法	106.5(W)×49(H)×78(D)mm (1台) 542(W)×49(H)×78(D)mm (6台連結時)

※定格・仕様・外観等は、改良のため予告なく変更する場合があります。

6 定格

■ BC-225 インテリジェントチャージャー(別売品)

入 力 電 圧	DC12～16V ※付属品のACアダプター(BC-123S(L型))を使用時
使用温度範囲	15～40℃
重 量	約155g(BC-123Sを除く)
寸 法	75(W)×48.7(H)×115.3(D)mm

■ BC-227 急速充電器(別売品)

入 力 電 圧	DC12～16V ※付属品のACアダプター(BC-123S(L型))を使用時
使用温度範囲	15～40℃
重 量	約135g(BC-123Sを除く)
寸 法	94.8(W)×48.6(H)×72.4(D)mm

■ BC-214 6連急速充電器(別売品)

入 力 電 圧	DC12～16V ※付属品のACアダプター(BC-157S)を使用時
使用温度範囲	15～40℃
重 量	約1.2kg(BC-157Sを除く)
寸 法	303.2(W)×78.2(H)×179.7(D)mm

※定格・仕様・外観等は、改良のため予告なく変更する場合があります。

さくいん

	記号		は	
[▼]、[▲].....	1-1		バッテリーインフォモード.....	3-16
	数字		バッテリーチェック.....	3-15
1局を呼び出すときは.....	2-4		バッテリー内部温度警告.....	3-15
	C		ふ	
[CH切替].....	1-1		プライベートチャンネルスキャン.....	3-9
	P		へ	
[PTT].....	1-1		別売品一覧.....	5-1
	あ		ほ	
相手局番号.....	2-5		ポケットビープメロディー.....	3-12
アルカリ乾電池の入れかた.....	5-9		ま	
	え		マンダウン.....	3-3
エアイベント.....	v		め	
エマージェンシー.....	3-1		メモリーチャンネルスキャン.....	3-10
	き		も	
気圧調整口.....	v		モニター機能.....	3-12
緊急呼び出し.....	3-1		ゆ	
	く		ユーザー登録.....	i
グループ呼び出し.....	2-1		よ	
	こ		呼び出しかたの種類.....	2-1
個別呼び出し.....	2-1		ろ	
	さ		ローンワーカー.....	3-3
[サイド1].....	1-1		わ	
[サイド2].....	1-1		ワンタッチアンサー.....	3-11
サブチャンネルPTT機能.....	3-4			
	し			
充電モード.....	3-14			
仕様.....	6-1			
	せ			
設定項目.....	4-1			
設定モード.....	4-4			
全局呼び出し.....	2-1			
	ち			
着信履歴.....	3-13			
	つ			
通話チャンネル.....	2-4			
	て			
[電源/音量].....	1-1			
	ね			
ネクスト表示.....	1-2			

How the World Communicates

～コミュニケーションで世界をつなぐ～

